

幸手市の公共施設に関する市民アンケート 調 査 結 果 報 告 書

平成 28 年 12 月

□ ■ 目 次 ■ □

第 1 章 調査概要	1
1－1 調査の目的	1
1－2 調査の概要	1
1－3 調査結果の見方	2
第 2 章 調査結果	3
2－1 あなたご自身について	3
2－2 公共施設の利用状況について	9
2－3 公共施設の満足度や優先度について	12
2－4 今後の公共施設のあり方について	25
●調査票	39

第1章 調査概要

1-1 調査の目的

本調査は、公共施設等総合管理計画を策定するにあたり、公共施設等に対する市民の意向を調査し、もって公共施設等総合管理計画への参考とすることを目的としています。

1-2 調査の概要

(1) 調査対象

平成 28 年 2 月末日現在の住民基本台帳より、無作為に抽出した満 16 歳以上の市民 2,000 人を対象に実施しました。

(2) 調査方法

アンケートは郵便による配布・回収とし、無記名回答としました。

(3) 調査期間

平成 28 年 4 月 28 日（木）から 5 月 12 日（木）まで

(4) 回収結果

標本数 2,000 票のうち、有効回収数は 724 票、有効回収率は 36.2%でした。

調査地域	幸手市内全域
調査対象	16 歳以上の市民 2,000 人
標本数	2,000 票
有効回収数	724 票
有効回収率	36.2%

1-3 調査結果の見方

(1) 回答率の表記について

回答率（各回答の百分比）は少数点以下第2位を四捨五入しています。

(2) 単数回答の百分率について

単数回答の百分比は、四捨五入のため合計が見かけ上 100.0 にならないことがあります。

(3) 複数回答の百分率について

複数回答は回答者数を基数としているため、百分比の合計が 100% を上回ることがあります。

(4) 標本誤差について

アンケート調査は標本調査であり、一定の範囲で誤差が含まれる可能性があります。それは次式によって与えられます。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

[p = 回答率
N = 母集団数
n = 有効回収数]

回答率 (p) \ 有効回収数 (n)	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
724	±2.19%	±2.91%	±3.34%	±3.57%	±3.64%

※上表は $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$ として算出しています。なお、この表の計算式の信頼度は95%です。

標本誤差とは、今回のように全体（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全体を対象に行った調査と比べ、一定の範囲で誤差が含まれる可能性があります。

この誤差は、標本の抽出方法や標本数によって異なりますが、その誤差を数学的に計算することが可能です。その計算式を今回の調査に当てはめて算出したのが上記の表となっています。

第2章 調査結果

2-1 あなたご自身について

回答者の属性について、以下に整理します。

回答者の属性						
性別						
男性				女性		
45.4%				53.2%		
年齢						
10 歳代	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
2.2%	6.1%	8.0%	13.0%	13.7%	28.6%	28.0%
居住地区（小学校区）						
幸手小学校区	行幸小学校区		上高野小学校区	権現堂川小学校区		吉田小学校区
22.0%	6.9%		13.0%	4.0%		5.8%
八代小学校区		長倉小学校区		さかえ小学校区		さくら小学校区
5.4%		12.0%		6.8%		22.8%
職業						
会社員 （公務員を 含む）	自営業	パート タイマー・ アルバイト	家事専業	農業	学生	無職 その他
23.6%	5.8%	12.7%	17.8%	3.2%	3.7%	29.4%
居住年数						
1 年未満	1 年以上～ 3 年未満	3 年以上～ 5 年未満	5 年以上～ 10 年未満	10 年以上～ 15 年未満	15 年以上～ 20 年未満	20 年以上
1.4%	1.9%	2.6%	6.1%	4.6%	8.0%	75.1%

【問1】あなたの性別はどちらですか。あてはまる番号に○をつけてください。

性別は、「男性」が 45.4%、「女性」が 53.2%となっています。

表 2-1 性別（単数回答）

項目名	回答数	割合(%)
男性	329	45.4
女性	385	53.2
無回答	10	1.4
合計	724	100.0

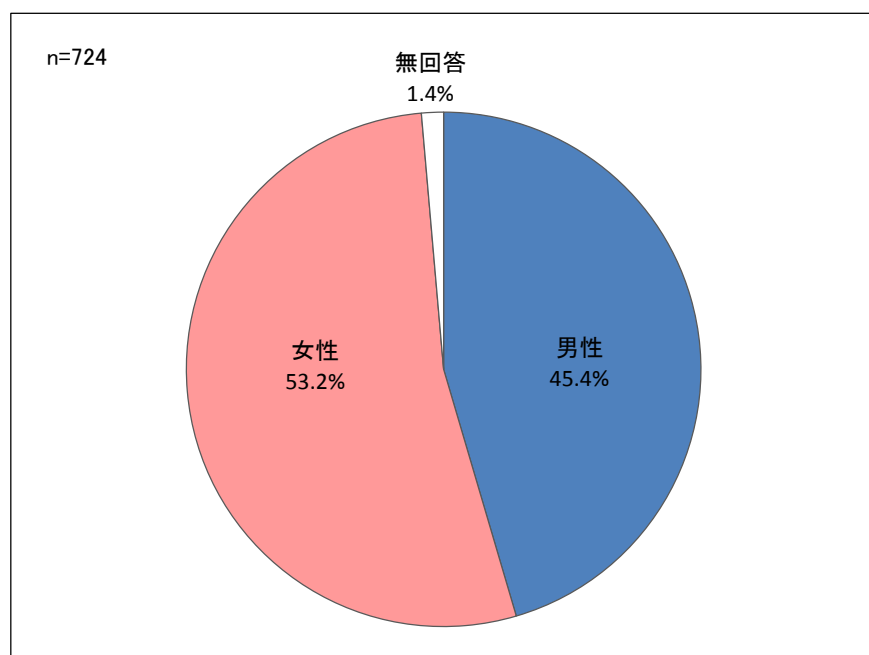


図 2-1 性別（単数回答）

【問2】あなたの年齢はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。

年齢は、「60歳代」が28.6%で最も多く、「70歳以上」が28.0%、「50歳代」が13.7%、「40歳代」が13.0%で続きます。

表 2-2 年代（単数回答）

項目名	回答数	割合(%)
10歳代	16	2.2
20歳代	44	6.1
30歳代	58	8.0
40歳代	94	13.0
50歳代	99	13.7
60歳代	207	28.6
70歳以上	203	28.0
無回答	3	0.4
合計	724	100.0

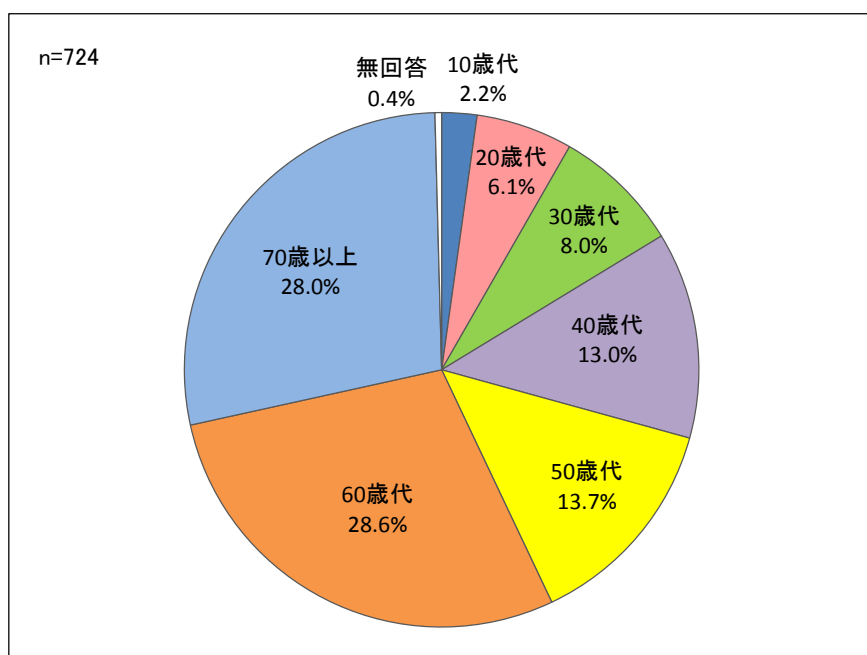


図 2-2 年代（単数回答）

【問3】あなたがお住まいの住所はどこですか。あてはまる番号に○をつけてください。

小学校区は、「さくら小学校区」が 22.8%で最も多く、「幸手小学校区」が 22.0%、「上高野小学校区」が 13.0%、「長倉小学校区」が 12.0%で続きます。

表 2-3 小学校区（単数回答）

項目名	回答数	割合(%)
幸手小学校区	159	22.0
行幸小学校区	50	6.9
上高野小学校区	94	13.0
権現堂川小学校区	29	4.0
吉田小学校区	42	5.8
八代小学校区	39	5.4
長倉小学校区	87	12.0
さかえ小学校区	49	6.8
さくら小学校区	165	22.8
無回答	10	1.4
合計	724	100.0

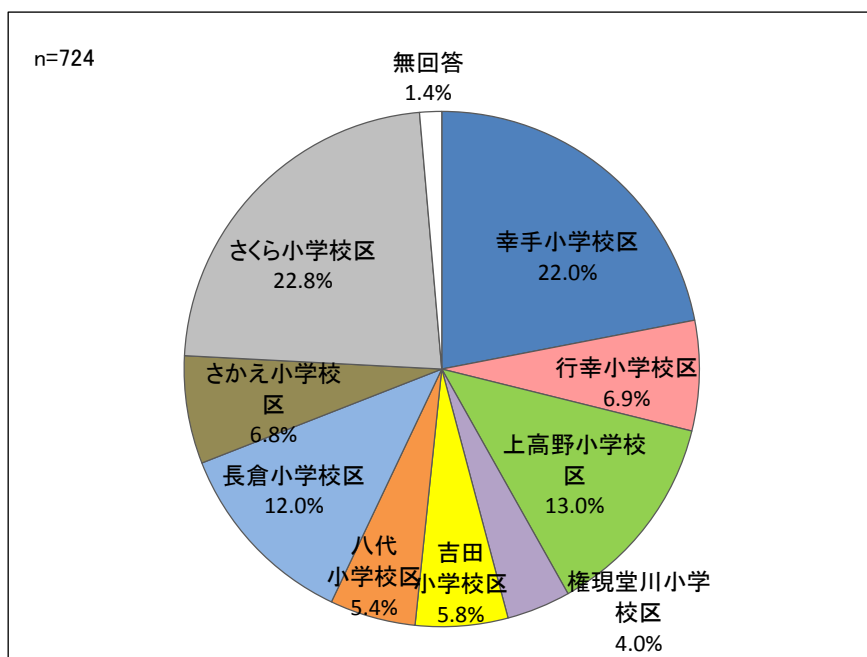


図 2-3 小学校区（単数回答）

【問4】あなたのご職業はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。

職業は、「無職」が 29.4%で最も多く、「会社員（公務員を含む）」が 23.6%、「家事専業」が 17.8%、「パートタイマー・アルバイト」が 12.7%で続きます。

表 2-4 職業（単数回答）

項目名	回答数	割合(%)
会社員（公務員を含む）	171	23.6
自営業	42	5.8
パートタイマー・アルバイト	92	12.7
家事専業	129	17.8
農業	23	3.2
学生	27	3.7
無職	213	29.4
その他	19	2.6
無回答	8	1.1
合計	724	100.0

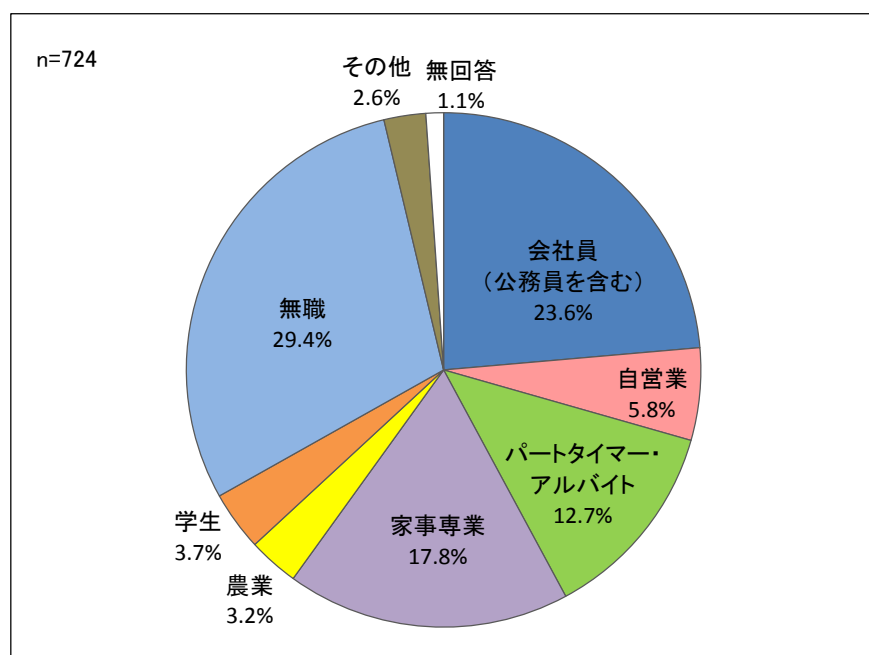


図 2-4 職業（単数回答）

【問5】あなたの幸手市での居住年数は次のうちどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。

居住年数は、「20年以上」が75.1%で最も多く、「15年以上～20年未満」が8.0%、「5年以上～10年未満」が6.1%、「10年以上～15年未満」が4.6%で続きます。

表 2-5 居住年数（単数回答）

項目名	回答数	割合(%)
1年未満	10	1.4
1年以上～3年未満	14	1.9
3年以上～5年未満	19	2.6
5年以上～10年未満	44	6.1
10年以上～15年未満	33	4.6
15年以上～20年未満	58	8.0
20年以上	544	75.1
無回答	2	0.3
合計	724	100.0

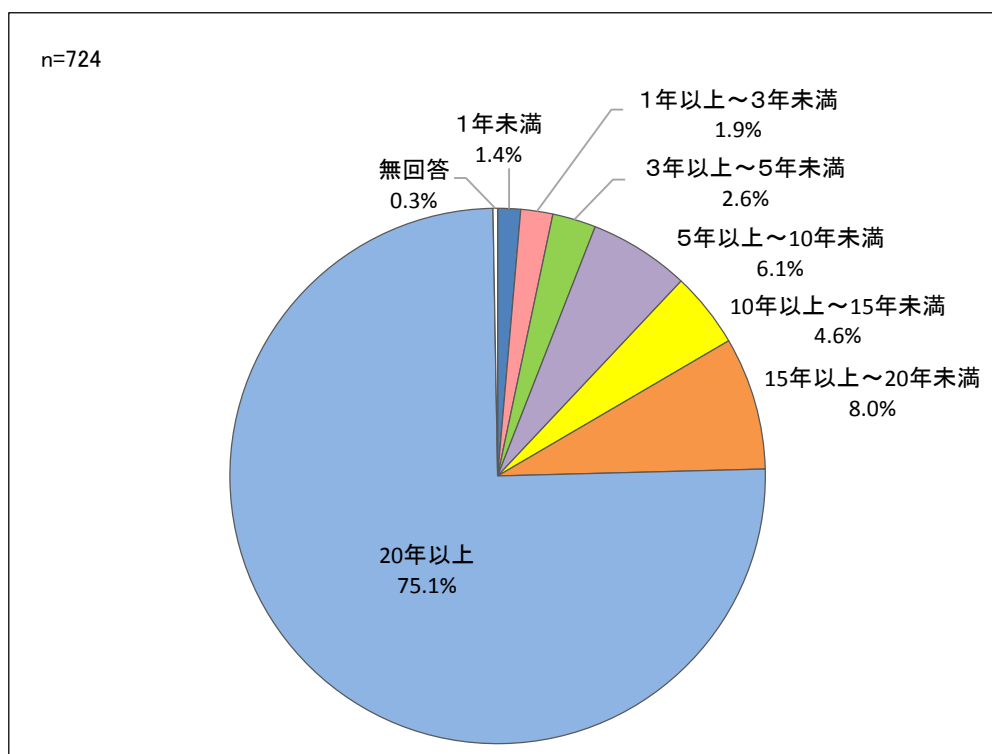


図 2-5 居住年数（単数回答）

2-2 公共施設の利用状況について

【問6】あなたは、過去1年間に、以下に示す公共施設をどのくらい利用しましたか。

施設ごとに「①利用頻度」から1つ選んで、番号に○をつけてください。

①で「利用していない」を選択した場合は、その理由を「②利用していない理由」から選んで、番号に○をつけてください。

(1) 施設の利用状況

施設ごとの利用状況をみると、利用していると回答した人の割合（週に1回以上、月に1回以上、年に数回程度の合計）が最も高かった施設は「行政系施設」となっており、次いで「福祉系施設」、「体育系施設」となっています。

表 2-6 施設の利用状況（単数回答）

施設分類名		週に1回以上	月に1回以上	年に数回程度	利用していない	無回答	合計
1 行政系施設	市役所	回答数 4	38	489	138	55	724
		割合(%) 0.6	5.2	67.5	19.1	7.6	100.0
2 福祉系施設	ウェルス幸手	回答数 19	42	288	320	55	724
		割合(%) 2.6	5.8	39.8	44.2	7.6	100.0
	老人福祉センター	回答数 4	8	18	624	70	724
		割合(%) 0.6	1.1	2.5	86.2	9.7	100.0
3 コミュニティ系施設	コミュニティセンター	回答数 14	15	65	562	68	724
		割合(%) 1.9	2.1	9.0	77.6	9.4	100.0
	勤労福祉会館	回答数 4	7	15	625	73	724
		割合(%) 0.6	1.0	2.1	86.3	10.1	100.0
	公民館・中央	回答数 15	27	46	542	94	724
		割合(%) 2.1	3.7	6.4	74.9	13.0	100.0
	公民館・東	回答数 5	4	30	577	108	724
		割合(%) 0.7	0.6	4.1	79.7	14.9	100.0
	公民館・西	回答数 12	9	43	560	100	724
		割合(%) 1.7	1.2	5.9	77.3	13.8	100.0
	公民館・南	回答数 7	8	42	566	101	724
		割合(%) 1.0	1.1	5.8	78.2	14.0	100.0
4 体育系施設	公民館・北	回答数 6	3	75	531	109	724
		割合(%) 0.8	0.4	10.4	73.3	15.1	100.0
	アスカル幸手	回答数 22	15	213	419	55	724
		割合(%) 3.0	2.1	29.4	57.9	7.6	100.0
	幸手総合公園・陸上	回答数 1	3	19	628	73	724
		割合(%) 0.1	0.4	2.6	86.7	10.1	100.0
	幸手総合公園・サッカー	回答数 0	0	5	645	74	724
		割合(%) 0.0	0.0	0.7	89.1	10.2	100.0
	幸手総合公園・テニス	回答数 2	3	8	638	73	724
		割合(%) 0.3	0.4	1.1	88.1	10.1	100.0
	海洋センター（体育館）	回答数 0	0	20	638	66	724
		割合(%) 0.0	0.0	2.8	88.1	9.1	100.0
	野球場・ひばりヶ丘	回答数 0	4	20	635	65	724
		割合(%) 0.0	0.6	2.8	87.7	9.0	100.0
	野球場・神扇	回答数 0	1	13	641	69	724
		割合(%) 0.0	0.1	1.8	88.5	9.5	100.0
5 文化系施設	武道館、弓道場	回答数 8	3	7	641	65	724
		割合(%) 1.1	0.4	1.0	88.5	9.0	100.0
	図書館・市立図書館	回答数 21	55	158	435	55	724
		割合(%) 2.9	7.6	21.8	60.1	7.6	100.0
6 学校教育系施設	図書館・香日向分館	回答数 3	10	24	603	84	724
		割合(%) 0.4	1.4	3.3	83.3	11.6	100.0
	学校開放による小・中学校の校庭、体育館	回答数 10	11	51	583	69	724
		割合(%) 1.4	1.5	7.0	80.5	9.5	100.0
7 子育て支援系施設	市立幼稚園	回答数 3	1	6	610	104	724
		割合(%) 0.4	0.1	0.8	84.3	14.4	100.0
	保育所	回答数 11	0	3	602	108	724
		割合(%) 1.5	0.0	0.4	83.1	14.9	100.0
	児童館	回答数 1	9	23	582	109	724
		割合(%) 0.1	1.2	3.2	80.4	15.1	100.0
	放課後児童クラブ（学童保育室）	回答数 12	0	2	601	109	724
		割合(%) 1.7	0.0	0.3	83.0	15.1	100.0

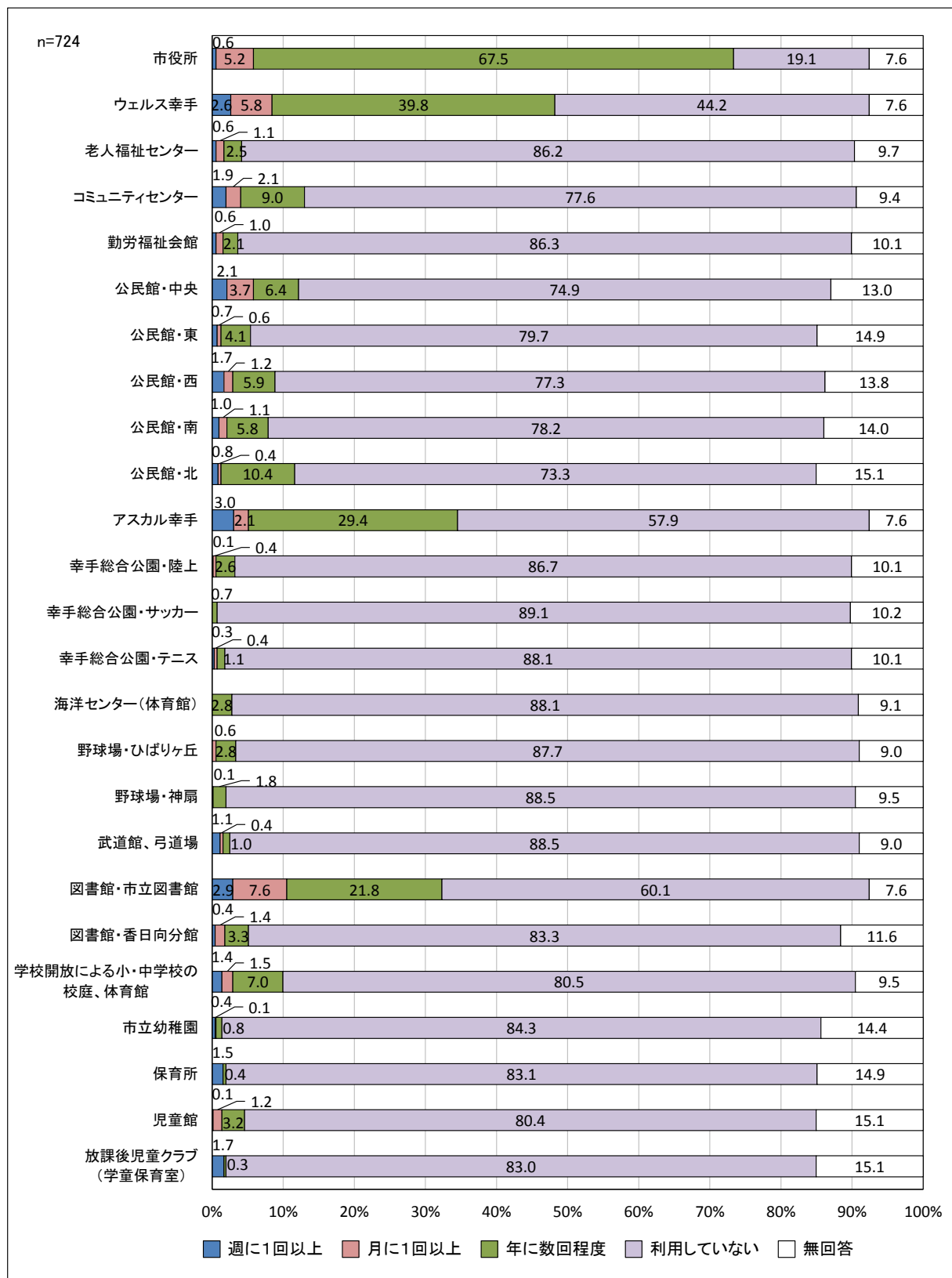


図 2-6 施設の利用状況（単数回答）

(2) 施設を利用していない理由

問6①「利用頻度」で、「利用していない」を選択した人を回答の対象としています。

利用していない理由をみると、全ての施設で「利用する機会がない」と回答した人の割合が最も高く、次いで「関心がない・その他」、「施設の存在を知らない」となっています。

表 2-7 施設を利用していない理由（複数回答 いくつでも）

施設分類名			利用 する 機会が ない	施設 のある 場所が 不便	利用 時間 に不満	利用 料金に 不満	設備 に不満	他 市町村 の 利用	民間 の 類似 施設を 利用	施設 の存在 を 知らない	関 心 が ない・ その他	無 回 答	回 答 者 数
1 行政系施設	市役所	回答数	118	4	5	0	0	2	2	5	13	7	138
		割合(%)	85.5	2.9	3.6	0.0	0.0	1.4	1.4	3.6	9.4	5.1	100.0
2 福祉系施設	ウェルス幸手	回答数	269	20	4	1	3	4	4	9	40	14	320
		割合(%)	84.1	6.3	1.3	0.3	0.9	1.3	1.3	2.8	12.5	4.4	100.0
	老人福祉センター	回答数	526	21	2	1	2	0	2	49	80	30	624
		割合(%)	84.3	3.4	0.3	0.2	0.3	0.0	0.3	7.9	12.8	4.8	100.0
3 コミュニティ 系施設	コミュニティセンター	回答数	469	19	1	2	2	3	4	55	58	25	562
		割合(%)	83.5	3.4	0.2	0.4	0.4	0.5	0.7	9.8	10.3	4.4	100.0
	勤労福祉会館	回答数	528	8	1	1	5	2	2	58	70	29	625
		割合(%)	84.5	1.3	0.2	0.2	0.8	0.3	0.3	9.3	11.2	4.6	100.0
	公民館・中央	回答数	462	9	0	0	3	1	0	26	57	27	542
		割合(%)	85.2	1.7	0.0	0.0	0.6	0.2	0.0	4.8	10.5	5.0	100.0
	公民館・東	回答数	490	21	1	1	1	1	0	37	58	29	577
		割合(%)	84.9	3.6	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0	6.4	10.1	5.0	100.0
	公民館・西	回答数	477	16	1	1	2	1	0	31	59	28	560
		割合(%)	85.2	2.9	0.2	0.2	0.4	0.2	0.0	5.5	10.5	5.0	100.0
	公民館・南	回答数	489	12	0	1	1	3	0	31	58	24	566
		割合(%)	86.4	2.1	0.0	0.2	0.2	0.5	0.0	5.5	10.2	4.2	100.0
公民館・北	回答数	454	14	1	0	2	1	1	25	59	22	531	
	割合(%)	85.5	2.6	0.2	0.0	0.4	0.2	0.2	4.7	11.1	4.1	100.0	
4 体育系施設	アスカル幸手	回答数	357	20	1	1	3	2	6	7	48	23	419
		割合(%)	85.2	4.8	0.2	0.2	0.7	0.5	1.4	1.7	11.5	5.5	100.0
	幸手総合公園・陸上	回答数	522	13	3	1	3	0	0	37	92	30	628
		割合(%)	83.1	2.1	0.5	0.2	0.5	0.0	0.0	5.9	14.6	4.8	100.0
	幸手総合公園・サッカー	回答数	538	13	3	1	3	0	0	37	94	30	645
		割合(%)	83.4	2.0	0.5	0.2	0.5	0.0	0.0	5.7	14.6	4.7	100.0
	幸手総合公園・テニス	回答数	532	15	2	1	1	0	1	37	94	30	638
		割合(%)	83.4	2.4	0.3	0.2	0.2	0.0	0.2	5.8	14.7	4.7	100.0
	海洋センター（体育館）	回答数	513	15	2	1	1	0	0	58	97	32	638
		割合(%)	80.4	2.4	0.3	0.2	0.2	0.0	0.0	9.1	15.2	5.0	100.0
	野球場・ひばりヶ丘	回答数	518	11	2	2	1	2	0	39	100	30	635
		割合(%)	81.6	1.7	0.3	0.3	0.2	0.3	0.0	6.1	15.7	4.7	100.0
5 文化系施設	野球場・神扇	回答数	519	12	2	1	2	0	0	54	98	29	641
		割合(%)	81.0	1.9	0.3	0.2	0.3	0.0	0.0	8.4	15.3	4.5	100.0
	武道館、弓道場	回答数	528	12	3	1	1	0	0	31	103	32	641
		割合(%)	82.4	1.9	0.5	0.2	0.2	0.0	0.0	4.8	16.1	5.0	100.0
	図書館・市立図書館	回答数	340	18	3	0	10	24	1	7	49	21	435
		割合(%)	78.2	4.1	0.7	0.0	2.3	5.5	0.2	1.6	11.3	4.8	100.0
	図書館・香日向分館	回答数	466	37	3	1	7	14	1	55	60	25	603
		割合(%)	77.3	6.1	0.5	0.2	1.2	2.3	0.2	9.1	10.0	4.1	100.0
6 学校教育系 施設	学校開放による小・中 学校の校庭、体育館	回答数	496	1	2	1	1	0	1	16	70	28	583
		割合(%)	85.1	0.2	0.3	0.2	0.2	0.0	0.2	2.7	12.0	4.8	100.0
7 子育て支援 系施設	市立幼稚園	回答数	514	6	1	0	1	0	3	17	67	34	610
		割合(%)	84.3	1.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.5	2.8	11.0	5.6	100.0
	保育所	回答数	513	1	1	0	0	0	0	11	65	36	602
		割合(%)	85.2	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	10.8	6.0	100.0
	児童館	回答数	490	3	1	0	0	0	1	14	63	36	582
		割合(%)	84.2	0.5	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	2.4	10.8	6.2	100.0
放課後児童クラブ (学童保育室)	回答数	509	1	1	1	1	0	0	13	64	38	601	
	割合(%)	84.7	0.2	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	2.2	10.6	6.3	100.0	
合計		回答数	11,637	322	46	20	55	60	29	759	1,716	689	13,946
		割合(%)	83.4	2.3	0.3	0.1	0.4	0.4	0.2	5.4	12.3	4.9	100.0

2-3 公共施設の満足度や優先度について

【問7】あなたは、公共施設の数や広さ、サービスについて満足していますか。施設ごとにあなたの考えに最も近いものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

(1) 施設数に対する考え方

施設数に対する考えをみると、全ての施設において適量と考える人の割合が最も高くなっています。

一方、少ないと考える人の割合（やや少ないと少ないの回答の合計）が高い傾向にあるのは「子育て支援系施設」となっています。

表 2-8 施設数に対する考え方（単数回答）

施設分類名			多すぎる	やや多い	適量	やや少ない	少ない	わからない	無回答	合計
1 行政系施設	市役所	回答数	13	29	478	14	17	112	61	724
		割合(%)	1.8	4.0	66.0	1.9	2.3	15.5	8.4	100.0
2 福祉系施設	ウエルス幸手	回答数	25	26	379	16	9	197	72	724
		割合(%)	3.5	3.6	52.3	2.2	1.2	27.2	9.9	100.0
	老人福祉センター	回答数	13	6	151	23	15	427	89	724
		割合(%)	1.8	0.8	20.9	3.2	2.1	59.0	12.3	100.0
3 コミュニティ系施設	コミュニティセンター	回答数	19	13	190	17	12	386	87	724
		割合(%)	2.6	1.8	26.2	2.3	1.7	53.3	12.0	100.0
	勤労福祉会館	回答数	21	11	138	13	7	443	91	724
		割合(%)	2.9	1.5	19.1	1.8	1.0	61.2	12.6	100.0
	公民館・中央	回答数	30	20	247	12	9	305	101	724
		割合(%)	4.1	2.8	34.1	1.7	1.2	42.1	14.0	100.0
	公民館・東	回答数	33	20	215	4	3	339	110	724
		割合(%)	4.6	2.8	29.7	0.6	0.4	46.8	15.2	100.0
	公民館・西	回答数	32	19	231	1	4	333	104	724
		割合(%)	4.4	2.6	31.9	0.1	0.6	46.0	14.4	100.0
	公民館・南	回答数	31	20	228	5	3	332	105	724
		割合(%)	4.3	2.8	31.5	0.7	0.4	45.9	14.5	100.0
4 体育系施設	アスカル幸手	回答数	23	21	397	27	11	166	79	724
		割合(%)	3.2	2.9	54.8	3.7	1.5	22.9	10.9	100.0
	幸手総合公園・陸上	回答数	11	7	201	11	9	389	96	724
		割合(%)	1.5	1.0	27.8	1.5	1.2	53.7	13.3	100.0
	幸手総合公園・サッカー	回答数	12	6	180	10	11	409	96	724
		割合(%)	1.7	0.8	24.9	1.4	1.5	56.5	13.3	100.0
	幸手総合公園・テニス	回答数	11	10	171	11	12	412	97	724
		割合(%)	1.5	1.4	23.6	1.5	1.7	56.9	13.4	100.0
	海洋センター（体育館）	回答数	22	10	154	8	7	431	92	724
		割合(%)	3.0	1.4	21.3	1.1	1.0	59.5	12.7	100.0
	野球場・ひばりヶ丘	回答数	13	7	205	10	4	393	92	724
		割合(%)	1.8	1.0	28.3	1.4	0.6	54.3	12.7	100.0
5 文化系施設	図書館・市立図書館	回答数	4	1	313	46	49	222	89	724
		割合(%)	0.6	0.1	43.2	6.4	6.8	30.7	12.3	100.0
	図書館・香日向分館	回答数	11	3	171	15	15	402	107	724
		割合(%)	1.5	0.4	23.6	2.1	2.1	55.5	14.8	100.0
6 学校教育系施設	学校開放による小・中学校の校庭、体育館	回答数	6	9	204	18	17	372	98	724
		割合(%)	0.8	1.2	28.2	2.5	2.3	51.4	13.5	100.0
	市立幼稚園	回答数	5	5	122	26	27	407	132	724
		割合(%)	0.7	0.7	16.9	3.6	3.7	56.2	18.2	100.0
7 子育て支援系施設	保育所	回答数	4	2	95	49	52	394	128	724
		割合(%)	0.6	0.3	13.1	6.8	7.2	54.4	17.7	100.0
	児童館	回答数	4	1	119	51	32	386	131	724
		割合(%)	0.6	0.1	16.4	7.0	4.4	53.3	18.1	100.0
	放課後児童クラブ（学童保育室）	回答数	4	2	100	38	45	406	129	724
		割合(%)	0.6	0.3	13.8	5.2	6.2	56.1	17.8	100.0

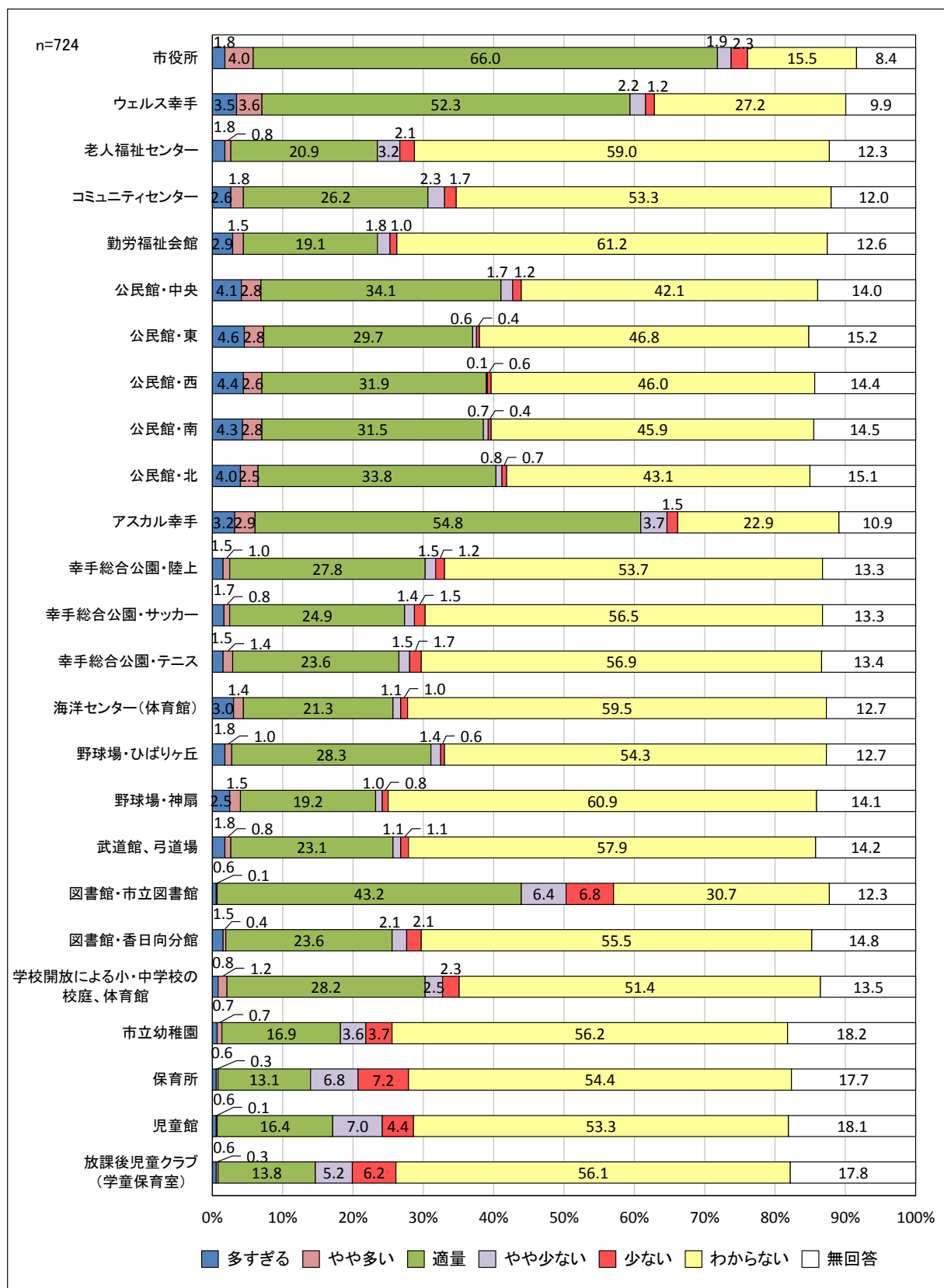


図 2-8 施設数に対する考え方（単数回答）

(2) 施設の広さに対する考え方

施設の広さに対する考えをみると、全ての施設において適量と考える人の割合が最も高くなっています。

その中でも、広いと考える人の割合（広すぎるとやや広いの回答の合計）が高い傾向にあるのは「福祉系施設」となっています。

一方、狭いと考える人の割合（やや狭いと狭いの回答の合計）が高い傾向にあるのは「文化系施設」となっています。

表 2-9 施設の広さに対する考え方（単数回答）

施設分類名			広すぎる	やや広い	適量	やや狭い	狭い	わからない	無回答	合計
1 行政系施設	市役所	回答数	9	34	380	78	31	108	84	724
		割合(%)	1.2	4.7	52.5	10.8	4.3	14.9	11.6	100.0
2 福祉系施設	ウェルス幸手	回答数	57	83	275	15	2	203	89	724
		割合(%)	7.9	11.5	38.0	2.1	0.3	28.0	12.3	100.0
	老人福祉センター	回答数	7	11	110	9	8	466	113	724
		割合(%)	1.0	1.5	15.2	1.2	1.1	64.4	15.6	100.0
3 コミュニティ系施設	コミュニティセンター	回答数	6	19	150	18	10	401	120	724
		割合(%)	0.8	2.6	20.7	2.5	1.4	55.4	16.6	100.0
	勤労福祉会館	回答数	6	7	95	22	16	455	123	724
		割合(%)	0.8	1.0	13.1	3.0	2.2	62.8	17.0	100.0
	公民館・中央	回答数	3	11	164	40	31	342	133	724
		割合(%)	0.4	1.5	22.7	5.5	4.3	47.2	18.4	100.0
	公民館・東	回答数	5	20	156	11	5	386	141	724
		割合(%)	0.7	2.8	21.5	1.5	0.7	53.3	19.5	100.0
	公民館・西	回答数	4	15	163	13	11	382	136	724
		割合(%)	0.6	2.1	22.5	1.8	1.5	52.8	18.8	100.0
	公民館・南	回答数	5	15	166	18	9	368	143	724
		割合(%)	0.7	2.1	22.9	2.5	1.2	50.8	19.8	100.0
	公民館・北	回答数	4	18	184	21	10	347	140	724
		割合(%)	0.6	2.5	25.4	2.9	1.4	47.9	19.3	100.0
4 体育系施設	アスカル幸手	回答数	27	45	334	31	14	172	101	724
		割合(%)	3.7	6.2	46.1	4.3	1.9	23.8	14.0	100.0
	幸手総合公園・陸上	回答数	4	3	168	9	9	407	124	724
		割合(%)	0.6	0.4	23.2	1.2	1.2	56.2	17.1	100.0
	幸手総合公園・サッカー	回答数	3	2	147	9	7	432	124	724
		割合(%)	0.4	0.3	20.3	1.2	1.0	59.7	17.1	100.0
	幸手総合公園・テニス	回答数	3	3	139	11	10	431	127	724
		割合(%)	0.4	0.4	19.2	1.5	1.4	59.5	17.5	100.0
	海洋センター（体育館）	回答数	6	2	117	15	15	450	119	724
		割合(%)	0.8	0.3	16.2	2.1	2.1	62.2	16.4	100.0
	野球場・ひばりヶ丘	回答数	6	9	155	14	9	394	137	724
		割合(%)	0.8	1.2	21.4	1.9	1.2	54.4	18.9	100.0
5 文化系施設	図書館・市立図書館	回答数	2	2	189	99	82	242	108	724
		割合(%)	0.3	0.3	26.1	13.7	11.3	33.4	14.9	100.0
	図書館・香日向分館	回答数	2	3	98	24	25	443	129	724
		割合(%)	0.3	0.4	13.5	3.3	3.5	61.2	17.8	100.0
6 学校教育系施設	学校開放による小・中学校の校庭、体育館	回答数	1	4	180	17	10	384	128	724
		割合(%)	0.1	0.6	24.9	2.3	1.4	53.0	17.7	100.0
	市立幼稚園	回答数	1	3	103	21	13	422	161	724
		割合(%)	0.1	0.4	14.2	2.9	1.8	58.3	22.2	100.0
7 子育て支援系施設	保育所	回答数	1	0	74	42	24	424	159	724
		割合(%)	0.1	0.0	10.2	5.8	3.3	58.6	22.0	100.0
	児童館	回答数	1	1	78	41	38	409	156	724
		割合(%)	0.1	0.1	10.8	5.7	5.2	56.5	21.5	100.0
	放課後児童クラブ（学童保育室）	回答数	1	1	73	33	30	431	155	724
		割合(%)	0.1	0.1	10.1	4.6	4.1	59.5	21.4	100.0

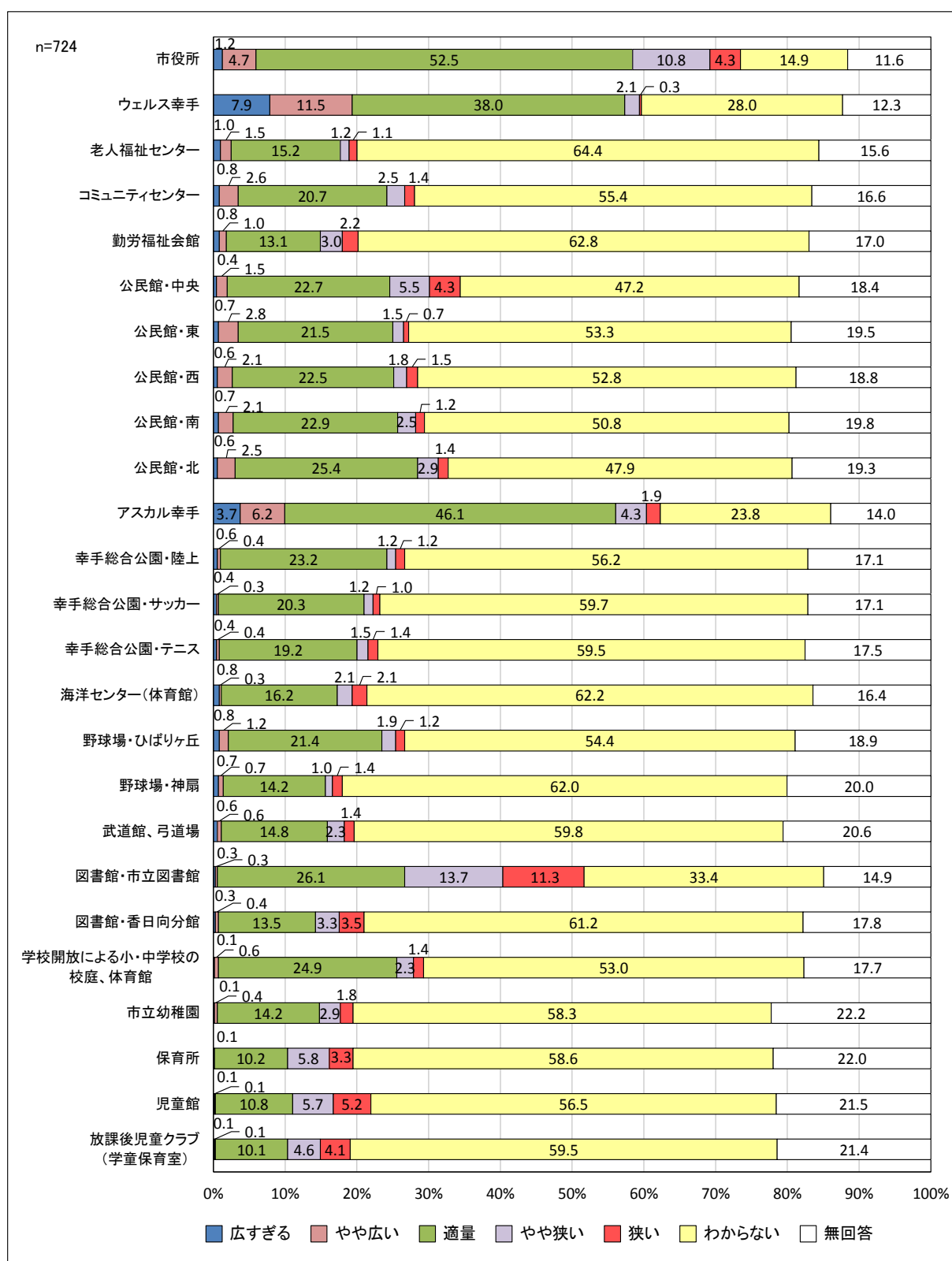


図 2-9 施設の広さに対する考え方（単数回答）

(3) サービスに対する満足度

サービスに対する満足度をみると、「行政系施設」と「福祉系施設」以外の施設は、施設を利用する機会がない人が多い傾向にあり、「わからない」と回答した人の割合が最も高くなっています。

一方、満足と回答した人の割合（満足とやや満足の回答の合計）及び不満と回答した人の割合（やや不満と不満の回答の合計）が最も高いのは、施設を利用する頻度が多い「行政系施設」となっています。

表 2-10 サービスに対する満足度（単数回答）

施設分類名			満足	やや満足	やや不満	不満	わからない	無回答	合計
1 行政系施設	市役所	回答数	79	237	117	60	143	88	724
		割合(%)	10.9	32.7	16.2	8.3	19.8	12.2	100.0
2 福祉系施設	ウェルス幸手	回答数	84	179	70	33	252	106	724
		割合(%)	11.6	24.7	9.7	4.6	34.8	14.6	100.0
	老人福祉センター	回答数	18	28	25	13	520	120	724
		割合(%)	2.5	3.9	3.5	1.8	71.8	16.6	100.0
3 コミュニティ系施設	コミュニティセンター	回答数	25	65	34	15	463	122	724
		割合(%)	3.5	9.0	4.7	2.1	64.0	16.9	100.0
	勤労福祉会館	回答数	12	34	27	16	512	123	724
		割合(%)	1.7	4.7	3.7	2.2	70.7	17.0	100.0
	公民館・中央	回答数	23	75	49	20	413	144	724
		割合(%)	3.2	10.4	6.8	2.8	57.0	19.9	100.0
	公民館・東	回答数	19	56	30	15	452	152	724
		割合(%)	2.6	7.7	4.1	2.1	62.4	21.0	100.0
	公民館・西	回答数	20	60	30	13	454	147	724
		割合(%)	2.8	8.3	4.1	1.8	62.7	20.3	100.0
	公民館・南	回答数	19	64	34	13	444	150	724
		割合(%)	2.6	8.8	4.7	1.8	61.3	20.7	100.0
	公民館・北	回答数	21	88	36	15	418	146	724
		割合(%)	2.9	12.2	5.0	2.1	57.7	20.2	100.0
4 体育系施設	アスカル幸手	回答数	64	167	83	25	272	113	724
		割合(%)	8.8	23.1	11.5	3.5	37.6	15.6	100.0
	幸手総合公園・陸上	回答数	19	37	28	14	496	130	724
		割合(%)	2.6	5.1	3.9	1.9	68.5	18.0	100.0
	幸手総合公園・サッカー	回答数	16	31	22	14	510	131	724
		割合(%)	2.2	4.3	3.0	1.9	70.4	18.1	100.0
	幸手総合公園・テニス	回答数	17	32	23	16	504	132	724
		割合(%)	2.3	4.4	3.2	2.2	69.6	18.2	100.0
	海洋センター（体育館）	回答数	13	30	28	16	515	122	724
		割合(%)	1.8	4.1	3.9	2.2	71.1	16.9	100.0
	野球場・ひばりヶ丘	回答数	25	49	22	12	473	143	724
		割合(%)	3.5	6.8	3.0	1.7	65.3	19.8	100.0
	野球場・神扇	回答数	11	29	22	15	498	149	724
		割合(%)	1.5	4.0	3.0	2.1	68.8	20.6	100.0
5 文化系施設	図書館・市立図書館	回答数	66	121	76	42	303	116	724
		割合(%)	9.1	16.7	10.5	5.8	41.9	16.0	100.0
	図書館・香日向分館	回答数	18	44	29	15	486	132	724
		割合(%)	2.5	6.1	4.0	2.1	67.1	18.2	100.0
6 学校教育系施設	学校開放による小・中学校の校庭、体育館	回答数	22	68	31	17	457	129	724
		割合(%)	3.0	9.4	4.3	2.3	63.1	17.8	100.0
	市立幼稚園	回答数	14	39	28	16	470	157	724
		割合(%)	1.9	5.4	3.9	2.2	64.9	21.7	100.0
7 子育て支援系施設	保育所	回答数	14	29	32	23	468	158	724
		割合(%)	1.9	4.0	4.4	3.2	64.6	21.8	100.0
	児童館	回答数	13	36	35	21	463	156	724
		割合(%)	1.8	5.0	4.8	2.9	64.0	21.5	100.0
	放課後児童クラブ（学童保育室）	回答数	14	32	34	16	473	155	724
		割合(%)	1.9	4.4	4.7	2.2	65.3	21.4	100.0

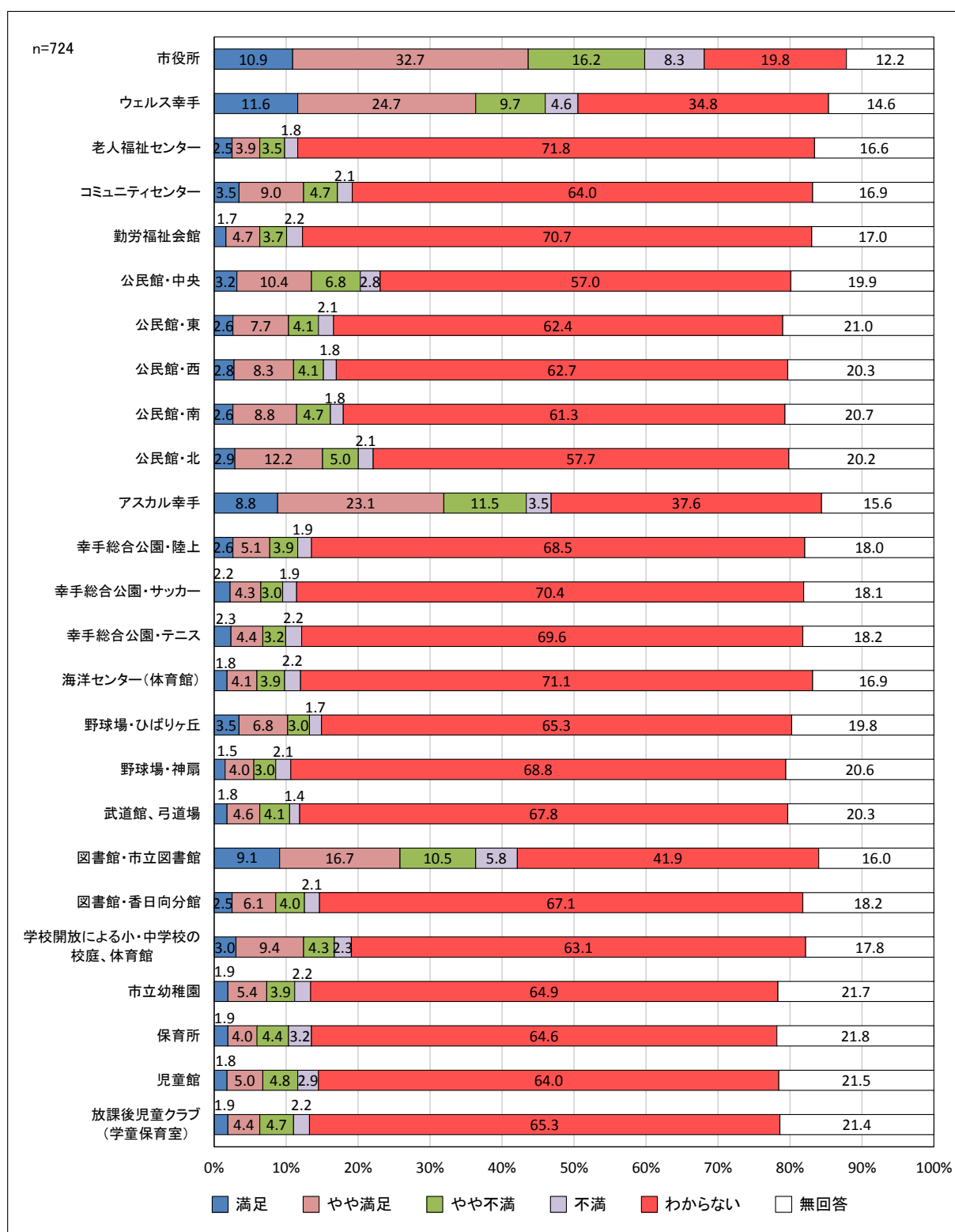


図 2-10 サービスに対する満足度（単数回答）

【問8】公共施設では様々なサービスを提供していますが、幸手市が将来にわたって優先的に維持すべき施設は、どのような施設が良いと思いますか。施設分類の中から順番に1位、2位、3位までを選び、下の枠内の順位に○を記入してください。
(○は3つ)

○ 回答結果は、「1位」に3点、「2位」に2点、「3位」に1点を与えて、点数化した合計点で比較しています。

点数＝「1位」(票数)×3点＋「2位」(票数)×2点＋「3位」(票数)×1点＋「無回答」×0点

将来にわたって優先的に維持すべき施設は、「福祉系施設」が1,167点で最も高く、次いで「子育て支援系施設」が789点、「行政系施設」が612点となっています。

表 2-11 将来にわたって優先的に維持すべき施設（各順位 1つ）

施設分類名	1位		2位		3位		回答数 合計	合計点
	回答数	点数	回答数	点数	回答数	点数		
行政系施設	134	402	69	138	72	72	275	612
福祉系施設	264	792	149	298	77	77	490	1,167
コミュニティ系施設	28	84	77	154	106	106	211	344
体育系施設	21	63	31	62	44	44	96	169
文化系施設	8	24	40	80	56	56	104	160
学校教育系施設	30	90	90	180	102	102	222	372
子育て支援系施設	126	378	142	284	127	127	395	789

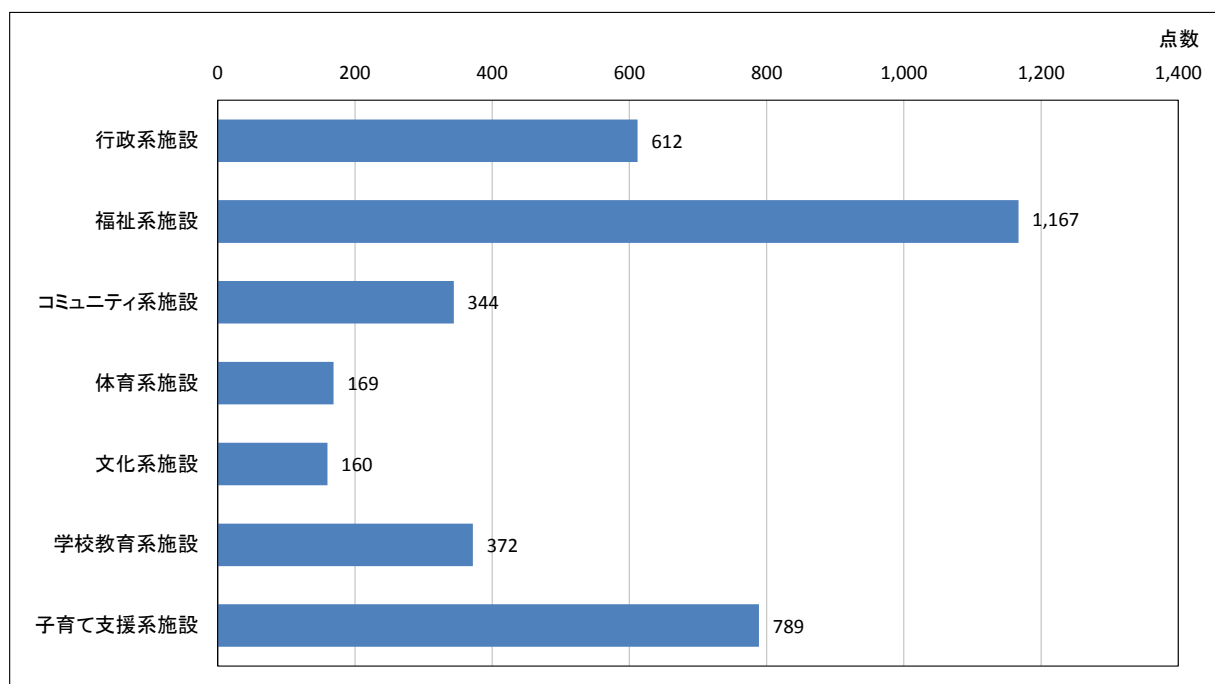


図 2-11 将来にわたって優先的に維持すべき施設（各順位 1つ）

【問 8 「将来にわたって優先的に維持すべき施設 各順位 1つ」の年代別の回答傾向】

回答母数が少ないのを考慮する必要がありますが、10 歳代では「福祉系施設」「学校教育系施設」「子育て支援系施設」の占める点数の割合が高くなっています。20 歳代、30 歳代、40 歳代では「福祉系施設」「子育て支援系施設」、50 歳代、60 歳代、70 歳以上では「福祉系施設」の占める点数の割合が高くなっています。

表 2-12 将来にわたって優先的に維持すべき施設（年代別 各順位 1つ 点数の割合）

項目名		行政系施設	福祉系施設	コミュニティ系施設	体育系施設	文化系施設	学校教育系施設	子育て支援系施設	合計点
全体	点数	612	1,167	344	169	160	372	789	3,613
	割合(%)	16.9	32.3	9.5	4.7	4.4	10.3	21.8	100.0
年 齢	10歳代	点数	9	23	5	8	2	22	90
		割合(%)	10.0	25.6	5.6	8.9	2.2	24.4	100.0
	20歳代	点数	41	60	13	26	22	39	254
		割合(%)	16.1	23.6	5.1	10.2	8.7	15.4	100.0
	30歳代	点数	39	84	21	18	10	37	313
		割合(%)	12.5	26.8	6.7	5.8	3.2	11.8	100.0
	40歳代	点数	103	142	32	39	18	59	507
		割合(%)	20.3	28.0	6.3	7.7	3.6	11.6	100.0
	50歳代	点数	114	196	54	24	27	58	582
		割合(%)	19.6	33.7	9.3	4.1	4.6	10.0	100.0
	60歳代	点数	181	355	115	26	27	106	1,045
		割合(%)	17.3	34.0	11.0	2.5	2.6	10.1	100.0
	70歳以上	点数	121	304	104	27	54	50	810
		割合(%)	14.9	37.5	12.8	3.3	6.7	6.2	100.0
	無回答	点数	4	3	0	1	0	1	12
		割合(%)	33.3	25.0	0.0	8.3	0.0	8.3	100.0

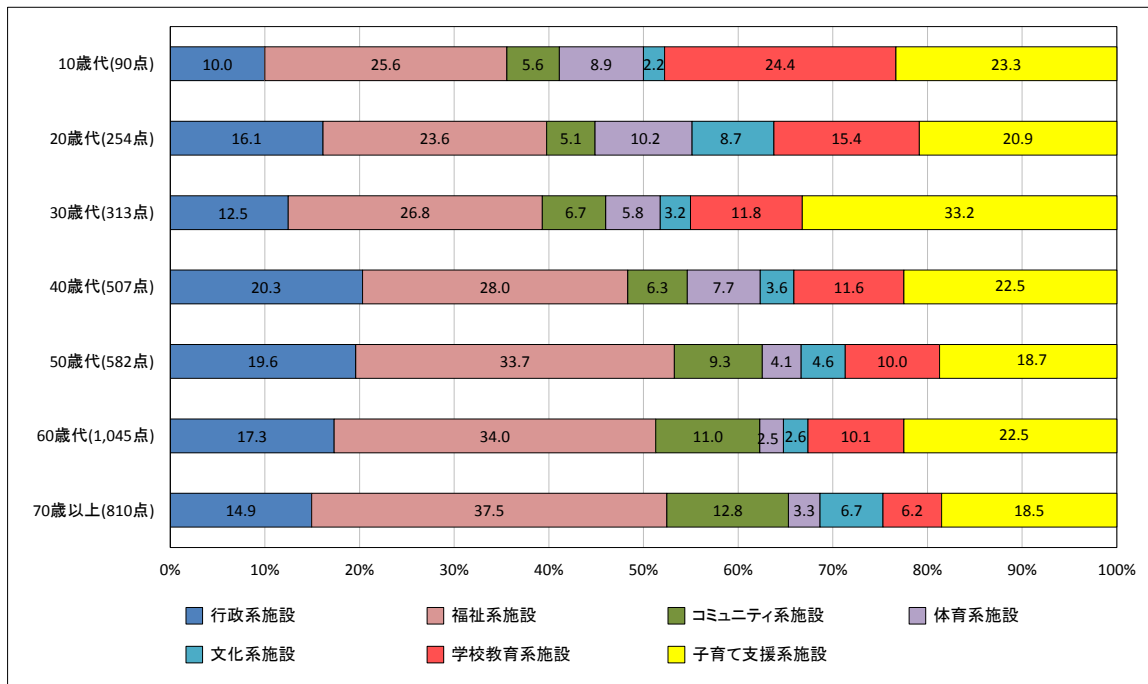


図 2-12 将来にわたって優先的に維持すべき施設（年代別 各順位 1つ 点数の割合）

【問 8 「将来にわたって優先的に維持すべき施設 1 位」の年代別の回答傾向】

回答母数が少ないのを考慮する必要がありますが、10 歳代では、「学校教育系施設」の占める割合が 31.3%と高くなっています。30 歳代を除く他の年代では、いずれも「福祉系施設」の占める割合が、高くなっています。30 歳代では、「子育て支援系施設」の占める割合が 37.9%と高くなっています。

表 2-13 将来にわたって優先的に維持すべき施設／1 位（年代別 単数回答）

項目名		行政系施設	福祉系施設	コミュニティ系施設	体育系施設	文化系施設	学校教育系施設	子育て支援系施設	無回答	合計
全体	回答数	134	264	28	21	8	30	126	113	724
	割合(%)	18.5	36.5	3.9	2.9	1.1	4.1	17.4	15.6	100.0
年齢	10歳代	回答数	2	5	0	0	5	3	1	16
		割合(%)	12.5	31.3	0.0	0.0	31.3	18.8	6.3	100.0
	20歳代	回答数	12	13	1	5	2	7	1	44
		割合(%)	27.3	29.5	2.3	11.4	4.5	15.9	2.3	100.0
	30歳代	回答数	7	15	3	2	1	22	6	58
		割合(%)	12.1	25.9	5.2	3.4	1.7	37.9	10.3	100.0
	40歳代	回答数	21	28	2	6	1	20	10	94
		割合(%)	22.3	29.8	2.1	6.4	1.1	21.3	10.6	100.0
	50歳代	回答数	26	41	6	3	0	18	1	99
		割合(%)	26.3	41.4	6.1	3.0	0.0	18.2	1.0	100.0
	60歳代	回答数	41	82	6	2	0	37	31	207
		割合(%)	19.8	39.6	2.9	1.0	0.0	17.9	15.0	100.0
	70歳以上	回答数	25	79	10	3	3	18	62	203
		割合(%)	12.3	38.9	4.9	1.5	1.5	8.9	30.5	100.0
	無回答	回答数	0	1	0	0	0	1	1	3
		割合(%)	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	100.0

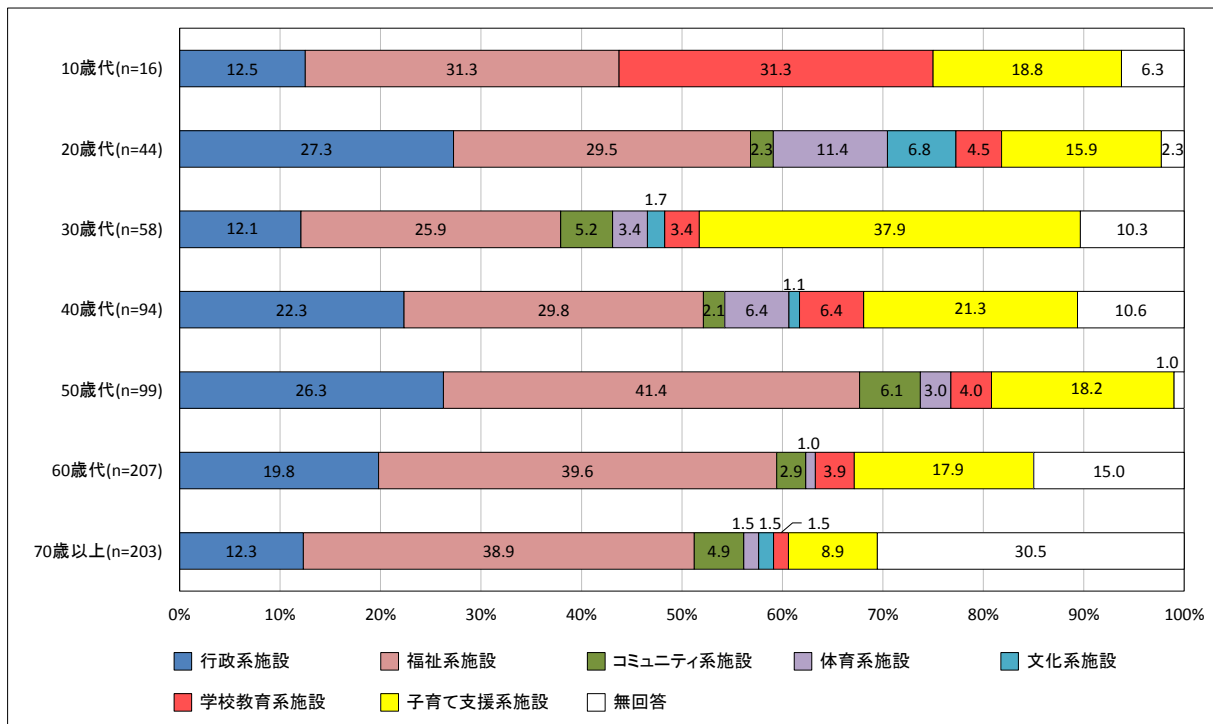


図 2-13 将来にわたって優先的に維持すべき施設／1 位（年代別 単数回答）

【問9】公共施設の役割や効果の分析により、今後施設の削減や見直しをすることが必要になることも考えられます。その場合、どのような施設から削減や見直しをしていくべきだと思いますか。3つまで選んで○をつけてください。（○は3つまで）

今後、見直していくべき施設についてみると、「1 社会情勢の変化により利用者が減少している施設」が最も高く 65.1%を占めています。次いで「3 建物・設備が老朽化している施設」が 49.0%、「4 施設の維持管理・運営にかかる費用が多い施設」が 46.4%となっています。

表 2-14 見直していくべき施設（複数回答 3つ）

回答者数=724

項目名	回答数	割合 (%)
1 社会情勢の変化により利用者が減少している施設	471	65.1
2 利用者が固定化していて、一部の個人・団体が使うことが多い施設	275	38.0
3 建物・設備が老朽化している施設	355	49.0
4 施設の維持管理・運営にかかる費用が多い施設	336	46.4
5 市内の近い範囲で、提供するサービスが重複している施設（民間施設含む）	224	30.9
6 近隣市町村の施設と機能が重複している施設	93	12.8
7 わからない	34	4.7
8 その他	9	1.2
9 無回答	35	4.8

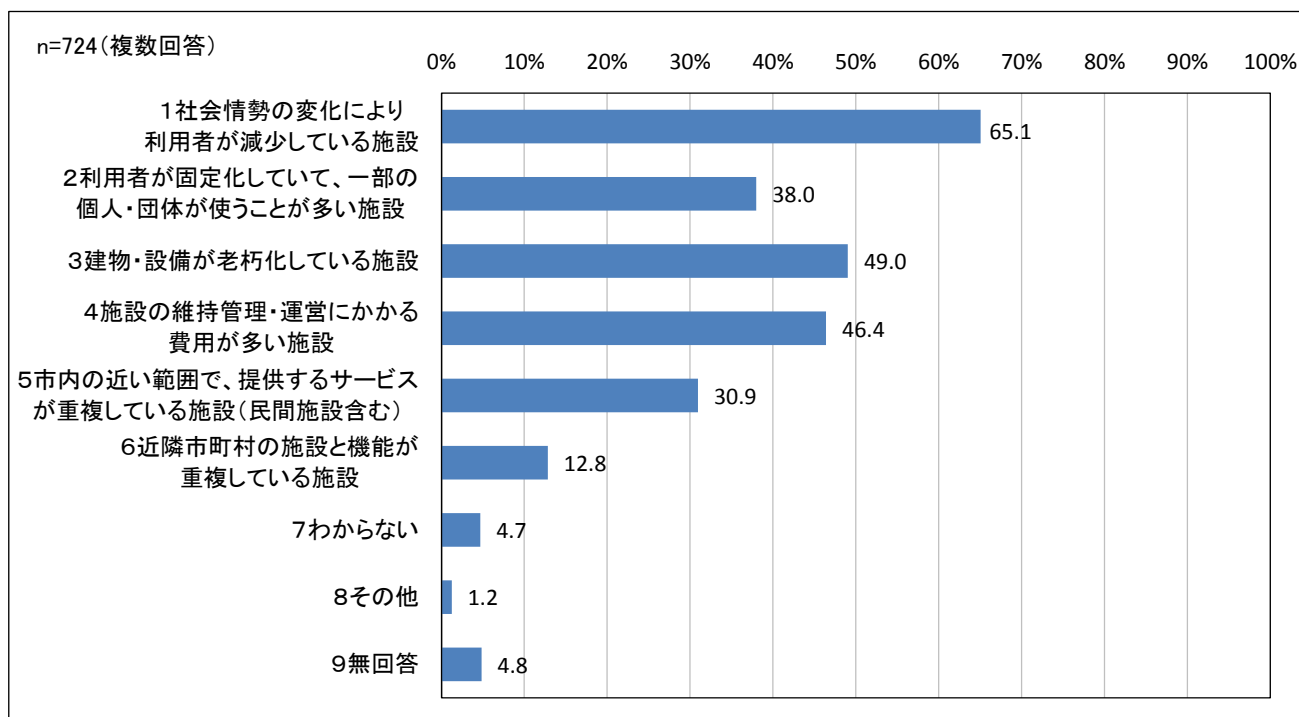


図 2-14 見直していくべき施設（複数回答 3つ）

今後、施設を見直していくべき順序について年代別にみると、「社会情勢の変化により利用者が減少している施設」が全ての年代で最も高くなっています。

表 2-15 見直していくべき施設（年代別 複数回答 3つ）

項目名		1 社会情勢の変化により 利用者が減少している施設	2 利用者が個人・団体 が固定化している施設	3 建築物・設備が 老朽化している施設	4 施設の維持管理・運 営に費用が多額の施設	5 市内の近隣範囲で、 サービスが重複して いる施設（民間施設 含む）	6 近隣市町村の施設と 機能が重複している施設	7 わからない	8 その他	9 無回答	回答者数
全体	回答数	471	275	355	336	224	93	34	9	35	724
	割合(%)	65.1	38.0	49.0	46.4	30.9	12.8	4.7	1.2	4.8	100.0
年 齢	10歳代	回答数	7	0	7	3	5	2	2	0	16
		割合(%)	43.8	0.0	43.8	18.8	31.3	12.5	12.5	0.0	100.0
	20歳代	回答数	27	18	21	23	21	3	1	2	44
		割合(%)	61.4	40.9	47.7	52.3	47.7	6.8	2.3	4.5	100.0
	30歳代	回答数	41	18	32	27	25	6	3	0	58
		割合(%)	70.7	31.0	55.2	46.6	43.1	10.3	5.2	0.0	100.0
	40歳代	回答数	63	37	60	41	37	14	1	1	94
		割合(%)	67.0	39.4	63.8	43.6	39.4	14.9	1.1	1.1	100.0
	50歳代	回答数	73	39	54	45	40	10	3	1	99
		割合(%)	73.7	39.4	54.5	45.5	40.4	10.1	3.0	1.0	100.0
	60歳代	回答数	137	85	113	105	61	27	4	3	207
		割合(%)	66.2	41.1	54.6	50.7	29.5	13.0	1.9	1.4	100.0
	70歳以上	回答数	121	78	67	90	34	31	20	2	203
		割合(%)	59.6	38.4	33.0	44.3	16.7	15.3	9.9	1.0	100.0
	無回答	回答数	2	0	1	2	1	0	0	1	3
		割合(%)	66.7	0.0	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	33.3	100.0

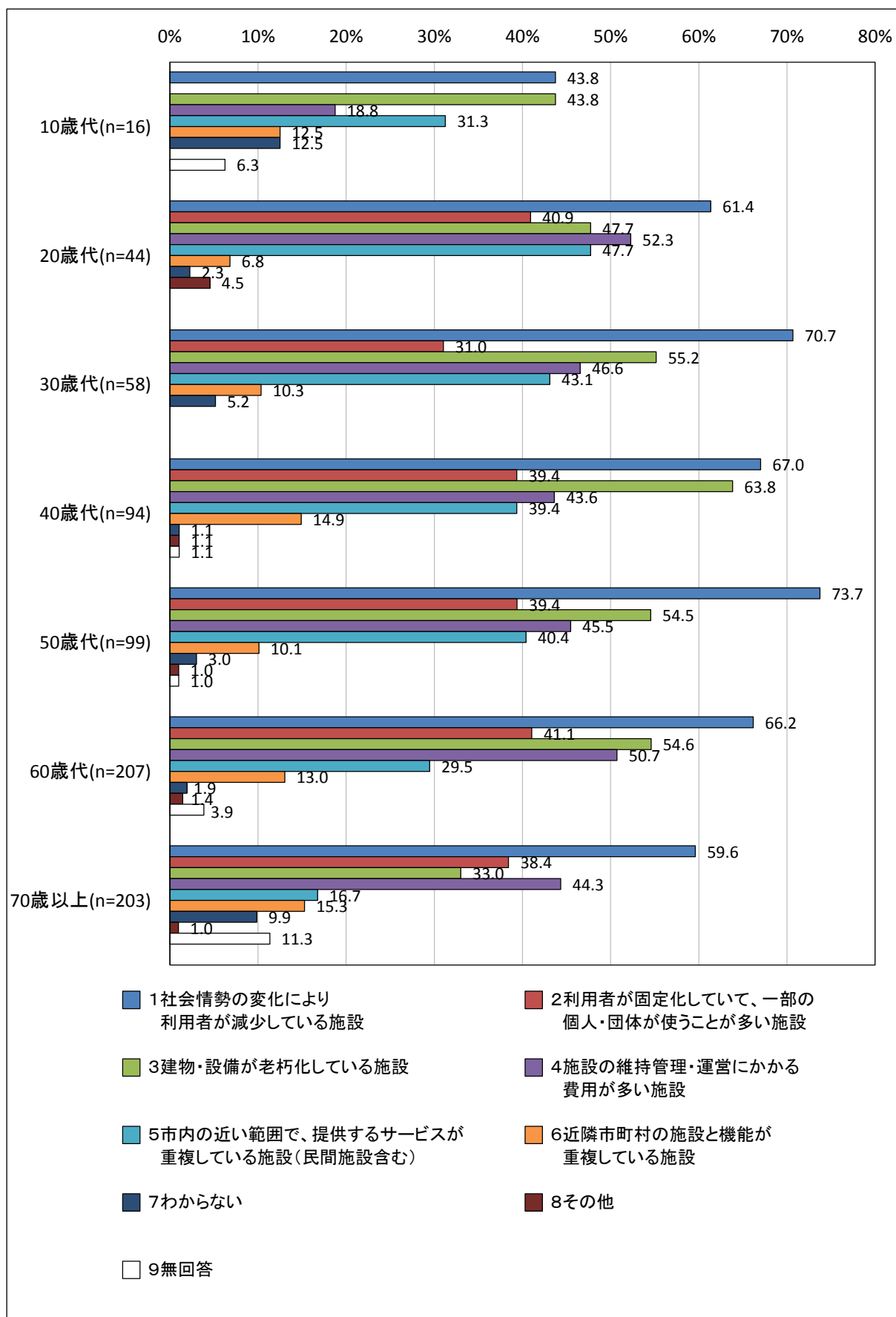


図 2-15 見直していくべき施設（年代別 複数回答 3つ）

【問 10】参考資料「幸手市の人口の将来見通しと公共施設を取り巻く環境の変化」をご覧になって、あなたが最も心配な点は何ですか。1つ選んで、番号に○をつけてください。
(○は一つ)

「幸手市の人口の将来見通しと公共施設を取り巻く環境の変化」をみて、最も心配な点についてみると、「総人口及び年代別人口の推移と将来の見通し」が最も高く 47.2%を占めています。次いで、「将来の公共施設更新費用（試算）」が 20.2%となっています。

表 2-16 最も心配な点（単数回答）

項目名	回答数	割合 (%)
総人口及び年代別人口の推移と将来の見通し	342	47.2
保有する公共施設数とその割合	65	9.0
公共施設の老朽化割合	111	15.3
将来の公共施設更新費用（試算）	146	20.2
その他	15	2.1
無回答	45	6.2
合計	724	100.0

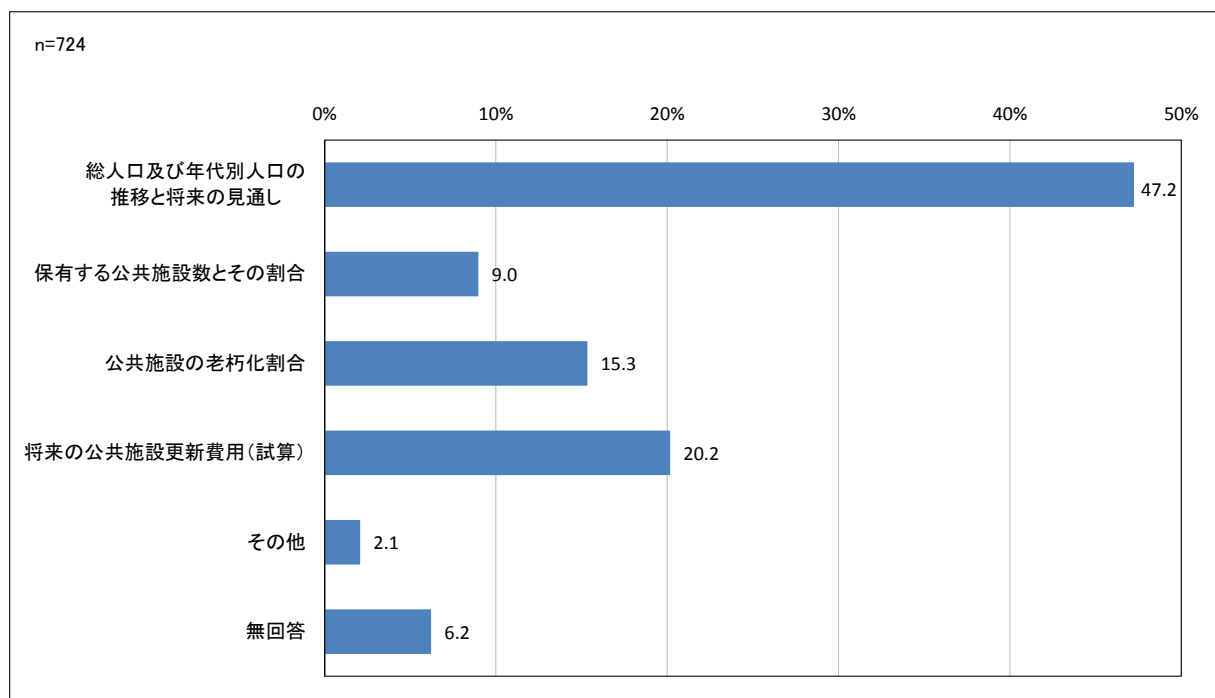


図 2-16 最も心配な点（単数回答）

2-4 今後の公共施設のあり方について

【問 11】将来も安全で使い易い施設を提供していくために、さまざまな方策を検討していく必要があります。市の保有する公共施設全般に関して、あなたはごどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで、番号に○をつけてください。
(○はそれぞれ1つ)

将来の公共施設に関する方策についてみると、実施すべきとの回答（「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」の合計）が最も多かったのは、「6 利用頻度の低い施設は、他の用途に変更することで施設の再生を図る」で、73.4%となっています。次いで「7 利用頻度の低い施設は廃止し、建物等を売却・賃貸して収入を得る」、「1 施設の統廃合や機能の複合化等によって総量（施設数）を減らす」の順に高く、それぞれが60%を上回っています。

表 2-17 将来の公共施設に関する方策（単数回答）

項目名		積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	どちらとも言えない、わからない	無回答	合計
1 施設の統廃合や機能の複合化等によって総量（施設数）を減らす	回答数	282	218	42	32	89	61	724
	割合(%)	39.0	30.1	5.8	4.4	12.3	8.4	100.0
2 近隣の市町村と共同で施設を建設・運営する	回答数	181	214	78	72	121	58	724
	割合(%)	25.0	29.6	10.8	9.9	16.7	8.0	100.0
3 施設の更新（改修・建替え）や維持管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する	回答数	196	222	65	40	136	65	724
	割合(%)	27.1	30.7	9.0	5.5	18.8	9.0	100.0
4 地域活動に密着した施設は、地域住民等が維持管理・運営を行う	回答数	83	190	118	102	165	66	724
	割合(%)	11.5	26.2	16.3	14.1	22.8	9.1	100.0
5 老朽化している施設の改築や修繕を行い、建物を長持ちさせる（長寿命化）	回答数	140	251	68	72	128	65	724
	割合(%)	19.3	34.7	9.4	9.9	17.7	9.0	100.0
6 利用頻度の低い施設は、他の用途に変更することで施設の再生を図る	回答数	292	240	28	33	71	60	724
	割合(%)	40.3	33.1	3.9	4.6	9.8	8.3	100.0
7 利用頻度の低い施設は廃止し、建物等を売却・賃貸して収入を得る	回答数	306	196	41	35	88	58	724
	割合(%)	42.3	27.1	5.7	4.8	12.2	8.0	100.0
8 施設の利用料を引き上げるなど、市の歳入を増やし、今ある施設を存続させる	回答数	64	129	154	165	144	68	724
	割合(%)	8.8	17.8	21.3	22.8	19.9	9.4	100.0

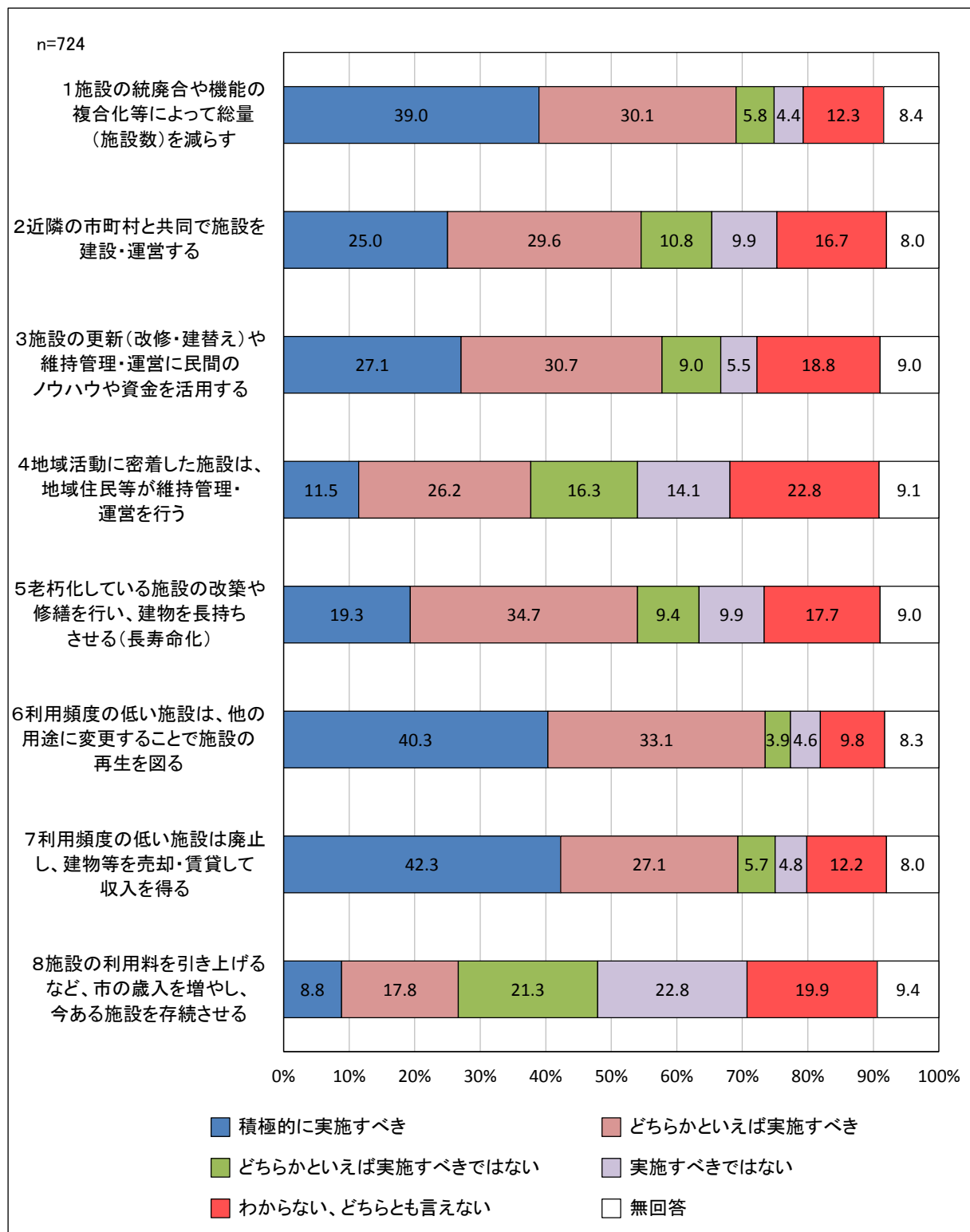


図 2-17 将来の公共施設に関する方策（単数回答）

【問 11「利用頻度の低い施設は、他の用途に変更することで施設の再生を図る」の年代別の回答傾向】

8つの設問項目のうち、実施すべきとの回答が最も多かった「利用頻度の低い施設は、他の用途に変更することで施設の再生を図る」について、年代別にみると、実施すべき（「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」の合計）の割合が最も高いのは20歳代、次いで50歳代で80%以上となっています。

表 2-18 「利用頻度の低い施設は、他の用途に変更することで施設の再生を図る」
(年代別 単数回答)

項目名		積極的に 実施すべき	どちらかと いえば 実施すべき	どちらかと いえば 実施すべき ではない	実施すべき ではない	わからない、 どちらとも 言えない	無回答	合計	
全体	回答数	292	240	28	33	71	60	724	
	割合(%)	40.3	33.1	3.9	4.6	9.8	8.3	100.0	
年 齢	10歳代	回答数	4	3	1	1	6	1	16
		割合(%)	25.0	18.8	6.3	6.3	37.5	6.3	100.0
	20歳代	回答数	18	18	4	2	1	1	44
		割合(%)	40.9	40.9	9.1	4.5	2.3	2.3	100.0
	30歳代	回答数	29	17	3	0	7	2	58
		割合(%)	50.0	29.3	5.2	0.0	12.1	3.4	100.0
	40歳代	回答数	35	38	6	8	6	1	94
		割合(%)	37.2	40.4	6.4	8.5	6.4	1.1	100.0
	50歳代	回答数	39	41	2	2	11	4	99
		割合(%)	39.4	41.4	2.0	2.0	11.1	4.0	100.0
	60歳代	回答数	83	77	5	12	21	9	207
		割合(%)	40.1	37.2	2.4	5.8	10.1	4.3	100.0
	70歳以上	回答数	83	46	7	7	19	41	203
		割合(%)	40.9	22.7	3.4	3.4	9.4	20.2	100.0
	無回答	回答数	1	0	0	1	0	1	3
		割合(%)	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	100.0

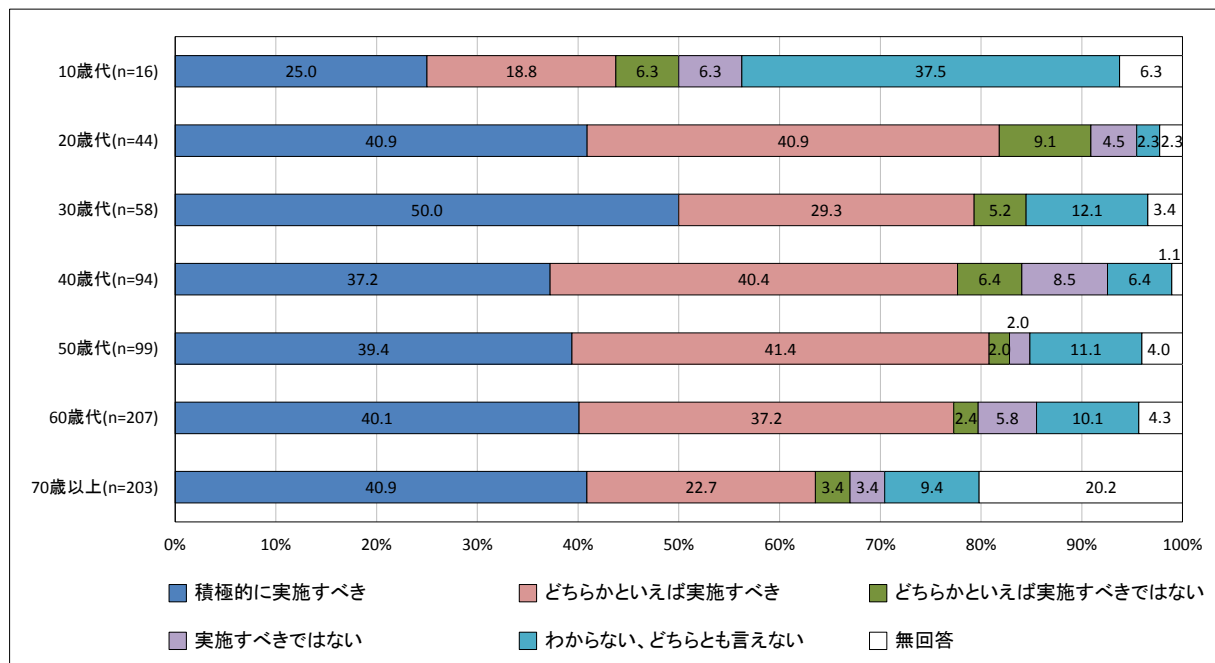


図 2-18 「利用頻度の低い施設は、他の用途に変更することで施設の再生を図る」
(年代別 単数回答)

【問 11「施設の利用料を引き上げるなど、市の歳入を増やし、今ある施設を存続させる」の年代別の回答傾向】

8つの設問項目のうち、実施すべきとの回答が最も少なかった「施設の利用料を引き上げるなど、市の歳入を増やし、今ある施設を存続させる」について、年代別にみると、実施すべきではない（「どちらかといえば実施すべきではない」と「実施すべきではない」の合計）の割合が最も高いのは30歳代で62.1%、次いで20歳代の61.3%となっています。

表 2-19 「施設の利用料を引き上げるなど、市の歳入を増やし、今ある施設を存続させる」
(年代別 単数回答)

項目名		積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきではない	実施すべきではない	わからない、どちらとも言えない	無回答	合計
全体	回答数	64	129	154	165	144	68	724
	割合(%)	8.8	17.8	21.3	22.8	19.9	9.4	100.0
年 齢	10歳代	回答数	1	0	4	3	7	16
		割合(%)	6.3	0.0	25.0	18.8	43.8	6.3
	20歳代	回答数	7	8	14	13	2	44
		割合(%)	15.9	18.2	31.8	29.5	4.5	100.0
	30歳代	回答数	2	5	20	16	14	58
		割合(%)	3.4	8.6	34.5	27.6	24.1	1.7
	40歳代	回答数	6	20	15	29	23	94
		割合(%)	6.4	21.3	16.0	30.9	24.5	1.1
	50歳代	回答数	13	19	19	32	13	99
		割合(%)	13.1	19.2	19.2	32.3	13.1	3.0
	60歳代	回答数	15	41	46	45	46	207
		割合(%)	7.2	19.8	22.2	21.7	22.2	6.8
	70歳以上	回答数	19	36	36	27	39	203
		割合(%)	9.4	17.7	17.7	13.3	19.2	22.7
	無回答	回答数	1	0	0	0	0	3
		割合(%)	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7

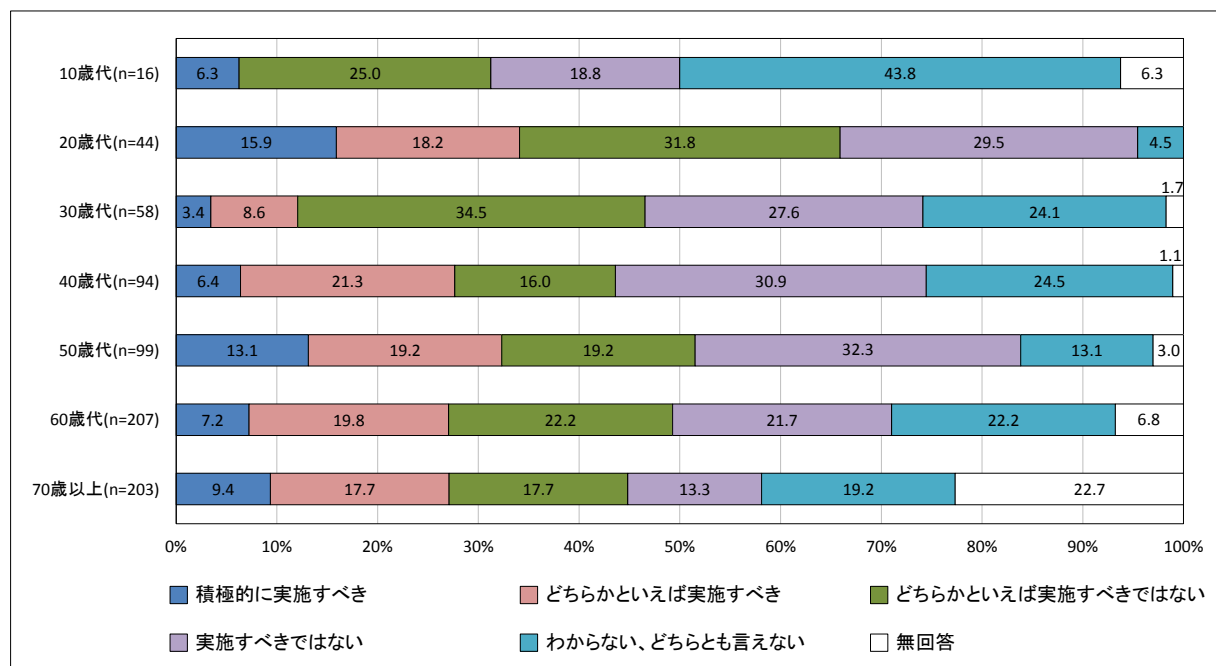


図 2-19 「施設の利用料を引き上げるなど、市の歳入を増やし、今ある施設を存続させる」
(年代別 単数回答)

【問 11「地域活動に密着した施設は、地域住民等が維持管理・運営を行う」の地区別の回答傾向】

今後、公共施設の維持管理の適正化を検討するうえでの選択肢の1つである地域住民等による施設の維持管理については、実施すべき（「積極的に実施すべき」と「どちらかといえば実施すべき」の合計）の多い地域もあれば、実施すべきでない（「どちらかといえば実施すべきでない」と「実施すべきではない」の合計）の割合が高い地域もあり、その傾向が異なることがわかります。

表 2-20 「地域活動に密着した施設は、地域住民等が維持管理・運営を行う」
(小学校区別 単数回答)

項目名		積極的に 実施すべき	どちらかとい えば 実施すべき	どちらかとい えば 実施すべき ではない	実施すべき ではない	わからない、 どちらとも 言えない	無回答	合計	
全体	回答数	83	190	118	102	165	66	724	
	割合(%)	11.5	26.2	16.3	14.1	22.8	9.1	100.0	
地区（小学校区）	幸手小学校区	回答数	23	48	22	14	35	17	159
		割合(%)	14.5	30.2	13.8	8.8	22.0	10.7	100.0
	行幸小学校区	回答数	8	11	8	7	14	2	50
		割合(%)	16.0	22.0	16.0	14.0	28.0	4.0	100.0
	上高野小学校区	回答数	15	22	13	15	20	9	94
		割合(%)	16.0	23.4	13.8	16.0	21.3	9.6	100.0
	権現堂川小学校区	回答数	4	5	6	7	4	3	29
		割合(%)	13.8	17.2	20.7	24.1	13.8	10.3	100.0
	吉田小学校区	回答数	1	11	12	3	11	4	42
		割合(%)	2.4	26.2	28.6	7.1	26.2	9.5	100.0
	八代小学校区	回答数	2	9	10	5	9	4	39
		割合(%)	5.1	23.1	25.6	12.8	23.1	10.3	100.0
	長倉小学校区	回答数	8	25	13	17	15	9	87
		割合(%)	9.2	28.7	14.9	19.5	17.2	10.3	100.0
	さかえ小学校区	回答数	8	14	4	5	11	7	49
		割合(%)	16.3	28.6	8.2	10.2	22.4	14.3	100.0
	さくら小学校区	回答数	13	43	30	27	44	8	165
		割合(%)	7.9	26.1	18.2	16.4	26.7	4.8	100.0
	無回答	回答数	1	2	0	2	2	3	10
		割合(%)	10.0	20.0	0.0	20.0	20.0	30.0	100.0

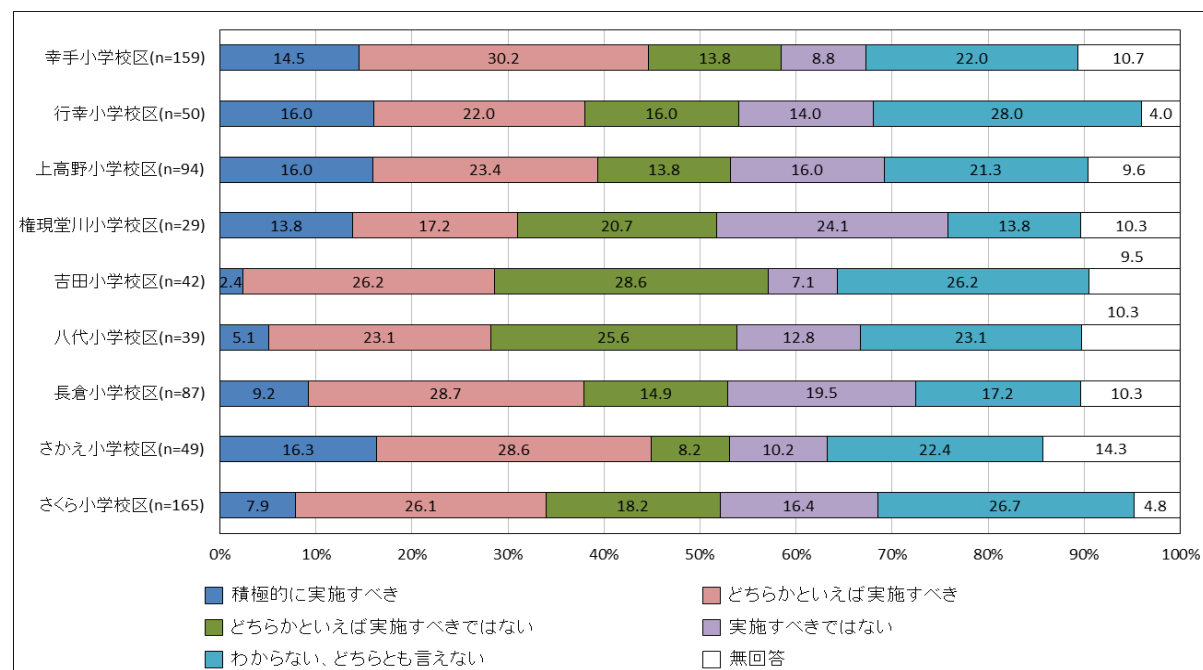


図 2-20 「地域活動に密着した施設は、地域住民等が維持管理・運営を行う」
(小学校区別 単数回答)

【問 12】今後、公共施設の更新(大規模改修・建替え)に必要な費用が増加することが予測されます。参考資料「幸手市の人口の将来見通しと公共施設を取り巻く環境の変化」をご覧ください、今後の公共施設の整備や維持管理・運営について、あなたはどのように進めていくべきだと思いますか。1つ選んで、番号に○をつけてください。(○は1つ)

今後の公共施設の整備や維持管理・運営についてみると、「2 公共施設の役割や効果等を分析し、財政状況に見合った総量（施設数）に減らしていくことを考える」が最も多く、70.4%を占めています。

表 2-21 今後の公共施設のあり方（単数回答）

項目名	回答数	割合(%)
1 今ある公共施設を維持し、建物の寿命を迎えたらその都度建替えていくことを考える	67	9.3
2 公共施設の役割や効果等を分析し、財政状況に見合った総量（施設数）に減らしていくことを考える	510	70.4
3 財源の問題はあるが、公共施設はまだ不足していると思うので、今後も拡充（増やす）していくことを考える	33	4.6
4 わからない	63	8.7
5 その他	12	1.7
6 無回答	39	5.4
合計	724	100.0

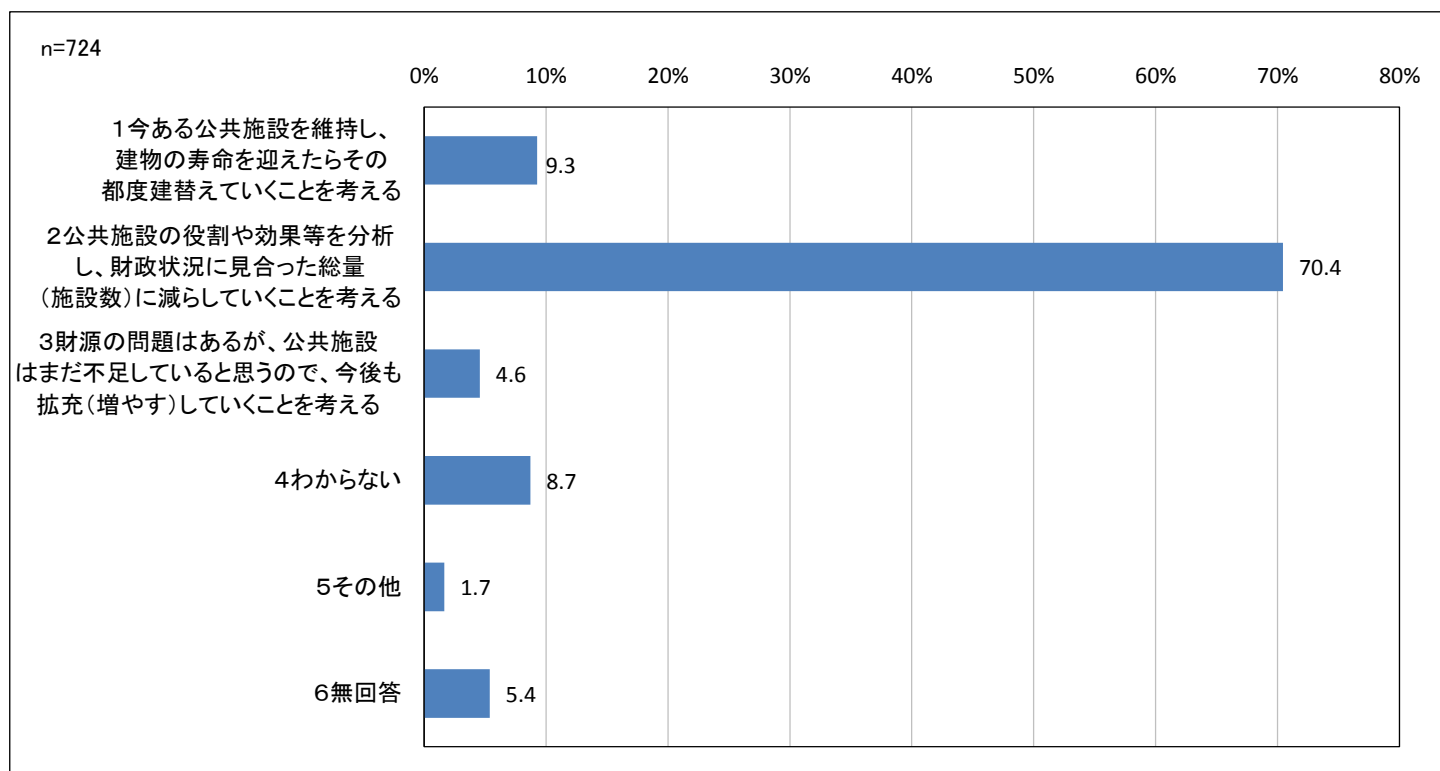


図 2-21 今後の公共施設のあり方（単数回答）

今後の公共施設の整備や維持管理・運営について年代別にみると、「2 公共施設の役割や効果等を分析し、財政状況に見合った総量（施設数）に減らしていくことを考える」が20歳代から70歳以上の年代で最も高くなっており、50歳代は81.8%を占めています。

表 2-22 今後の公共施設のあり方（年代別 単数回答）

項目名		1 その建今 都物のある 度を寿命公 を建命共 考替施 え迎設 てをを いたを維 くら持し、	2 い総分公 く量析し こ（施、 を設財 考数）役 えに況 る減に ら見 し合 てつ た	3 い拡公財 く充共源 こ（と施 を（思 考増う えやす）は るす）ま るしてだ るして足 るしてが、	4 わ か ら な い	5 そ の 他	6 無 回 答	合 計
全体	回答数	67	510	33	63	12	39	724
	割合(%)	9.3	70.4	4.6	8.7	1.7	5.4	100.0
年 齢	10歳代	回答数	5	4	3	4	0	16
		割合(%)	31.3	25.0	18.8	25.0	0.0	100.0
	20歳代	回答数	8	30	2	1	1	44
		割合(%)	18.2	68.2	4.5	2.3	2.3	100.0
	30歳代	回答数	5	41	3	6	2	58
		割合(%)	8.6	70.7	5.2	10.3	3.4	100.0
	40歳代	回答数	16	65	4	5	3	94
		割合(%)	17.0	69.1	4.3	5.3	3.2	100.0
	50歳代	回答数	3	81	3	9	0	99
		割合(%)	3.0	81.8	3.0	9.1	0.0	100.0
	60歳代	回答数	12	158	10	13	5	207
		割合(%)	5.8	76.3	4.8	6.3	2.4	100.0
	70歳以上	回答数	18	129	7	25	1	203
		割合(%)	8.9	63.5	3.4	12.3	0.5	100.0
	無回答	回答数	0	2	1	0	0	3
		割合(%)	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	100.0

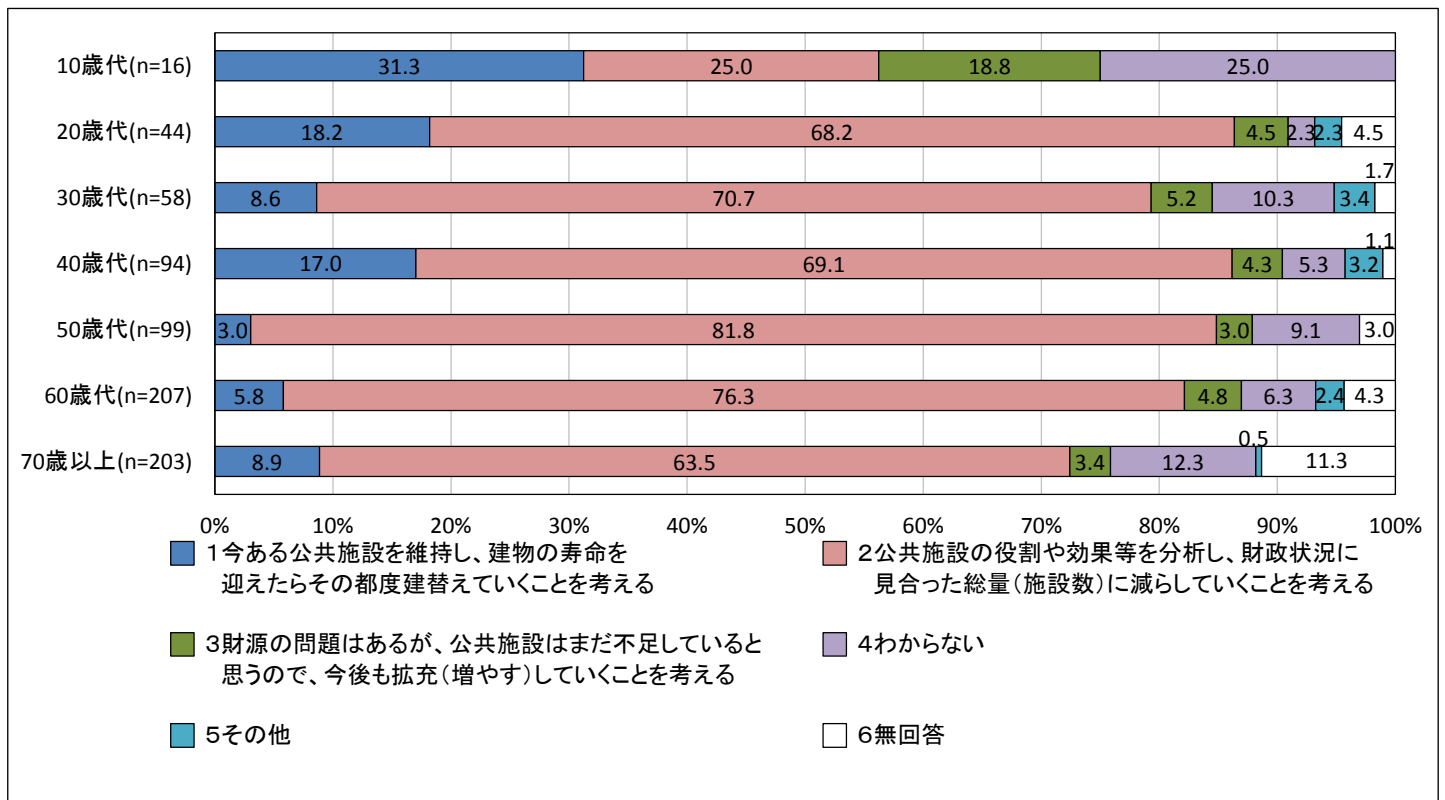


図 2-22 今後の公共施設のあり方（年代別 単数回答）

【問13】その他、幸手市の公共施設の現状や将来のあり方について、ご意見がありましたらご記入をお願いします。

自由意見は、回収数（724 票）のうちの約 37.3%にあたる 270 名の方からご意見を頂きました。

可能な限り原文のまま記載し、意見の最後にその意見を書いた方の性別、年代、小学校区、職業を表示しました。

主な意見は以下に示す通りです。

1. 公共施設全般に関する意見

（利用促進に関する意見）

- ・幸手は昔から住んでいる方多く、高齢化しているので（車乗れないと自転車など）、便利な施設（憩いの場なども）はなくなると困るし、若い方も住みやすい環境にするために他の市などの便利な公共施設などを参考にし、良い所は取り入れ必要ないものはなくし、市も住民も負担のないような、住みやすい幸手になっていったら良いと思います。利用する施設もそれぞれ若い方、独身の人はなかなか使う機会が無かったり、他の市に行ってしまうので近場で便利に使える方やもっとたくさんの人に利用してもらえるような工夫もあるといいと思います。（女性 40 歳代）
- ・公共施設はどうしても時間が早く閉まってしまったり、土日の開放が難しいようで、この点を民間と同じにとは言いませんが、少しでも近づけると利用できる人が増えるのではないかと思います。公民館以外にも学校の体育館の開放など、もっと積極的に行うと良いと思います。（女性 50 歳代）
- ・若者が公共施設を利用する機会が増えればいいと思う。そのためのイベント等を開いて欲しいです。（女性 20 歳代）
- ・難しいことはよく分かりませんが、利用しやすい施設であるかどうかも大事だと思います。また利用する機会が増えるための企画、利用者の意識の持ち方にも考慮の余地があるかと思います。（女性 60 歳代）
- ・アスカル幸手及びコミュニティ（中央、東、西、南、北）等の利用状況が分かりませんが、地元でありながら活用する方法等が詳しくわからないので利用する機会を逸しているように思います。もっと地元での利用を活発化させ、少しでも利用回数を増やす方法を考えて欲しい。特にアスカル幸手等は、あれだけの設備がありながら年間を通して活発な見込があるように思えません（今後の利用に関して再度どんな方法が良いのか検討の余地が必要と思います）。（男性 60 歳代）

（施設の運営に関する意見）

- ・健康維持活動を促進させるため、市内に温水プールを建設してほしい。権現堂の桜まつりの時期だけでなく他の季節にも幸手市を盛り上げるためのイベントをもっと企画運営すべき。幸手駅の西口開業は急務かつ最重要ミッションである。（男性 30 歳代）
- ・公共施設の場所が固まっていて千塚はとても不便。施設の数や広さよりも市民の利便性を考えて将来への見通しを進めていく必要があると思います。高齢化が進んでいく中で便利で誰でも平等にサービスを提供していただきたい。公共施設に行く市のバスを復活させてほしい。（女性 40 歳代）

- ・幸手市の土地の広さを考慮すると公共施設を減らす場合、施設がなくなったことに対し、ただ不便と感じ妥協するケースと、引越等を検討してしまうケースがあると思われます。若い人ほど、他の土地に魅力を感じ幸手から出てしまうと思いますので、今は、公共施設の改善をしていき民間施設に頼らなくとも、住民が不便と感ぜない状況にしていくべきだと思います。(男性 20 歳代)
- ・子ども達が大きくなったためか、こんなに市の施設を利用することが少なくなったと実感しました。我々40代世代は夫婦で働きに出ていて、公共施設を利用・・・必要とする機会が少ないです。公共の施設や支援、取り組みを必要とする子育て世代や、福祉事業を充実させ、利用が減少している分野を時代の変化に応じ精査することは大切なことだと思います。(女性 40 歳代)

(施設の統廃合に関する意見)

- ・人口の減少、建物の老朽化など費用の増加が認められるが幸手市の財政状況を考えれば、現在の既存建物にこだわることなく、利用頻度の少ない建物等は廃止していくべきと思われる。公共施設の問題に絡んで、災害時における、避難所等の充実を図ることを検討していただきたい。(男性 60 歳代)
- ・公共施設が少し多いかなと思います。例えば市役所ウェルズ幸手を1か所にまとめる、あるいはもう少し近くにあれば便利かなと思いますし、公民館も多いのかなと思います。講座も個人宅あるいは集落センターを活用するなど工夫をするとか。集落センターの建替えて1件あたりの負担が大きかったりして、困っていたりする人も多いのではないのでしょうか。(男性 50 歳代)
- ・公共施設の無駄を考えなおすべき。同じ役割や類似施設は売却していくべき。売却した収入を子育て/介護に投資し、住みやすい環境にして住民を増やすことを考える。これから老人の人口が増えるから、体育館等の施設は減らし、中学校の体育館等を利用する。「待機児童」問題が注目されているんだから、そこに重点を置き、「待機児童ゼロ」や働くお母さんが住みやすい市として周知されれば人口増加のきっかけになるのでは？納税額に差があると思うが、納税額の多い地区に税金を多く使ってくれないと、また納税額を多く使ってくれないと、納税者は不満を感じます。まずは人口を増やす、そのために「子育て」という世間の関心あるテーマに注力する。人口が増えれば税収が上がるので、将来の選択肢も増える。老人の人口が多いと、選挙のマニフェストでは福祉に力を入れてると言って票を獲得することを考えると思うが、もっと長い目で考えていかないといけない。そういう人が市長になるべき。目先のことでなく将来を考えた税金の使い方をしてほしい。(女性 20 歳代)
- ・各施設が用途別に点在しているので、目的別に出向く必要があり、面倒。また、施設自体も古く、利用しにくい上に魅力を感じない。立地の条件等は考慮する必要があるが、各施設を統合し、どんなサービスがどこで、どのように受けられるのかが、もっとわかりやすくなれば、施設利用頻度が向上するのではないかと思う。それから体育、文化施設は優先的に維持すべき施設としては度合いが低いかもしれないが、小さくても、環境の良い、体育文化施設は必須であると思う。箱の大きさではなく、質の向上を期待します。(女性 20 歳代)

(民間活用に関する意見)

- ・発想の転換を。守りの姿勢ではなく攻めで。奇抜なアイデアと充実した内容で人心を惹きつける。金を使わず頭を使う。民営は世の流れ。民間活力。(男性 60 歳代)
- ・公共施設を減らして民間の商業施設、介護施設を入れてほしいです。(男性 40 歳代)

- ・市の人口が漸減している現状を踏まえると、公共施設の維持管理に充当できる予算は限られてくる。これからは①民間委託を考える、②大胆に統廃合を行う、などして費用を抑えていく発想が必要と思う。(男性 70 歳以上)
- ・民間の力を借りて、施設自体で利益を生むような(杉戸アグリパーク等)施設にしてほしい。市役所を建て替える際などはそれをメインにして、その一角に市役所の今の業務ができる(コンパクトな)ようにしてほしい。公的な人数も減らし、出費を減らしてほしい。幸手市は埼玉県内最下位ではないかと思う(まずは人員を減らしてください)。(男性 50 歳代)

(避難場所・耐震性に関する意見)

- ・公共施設の災害時の避難場所機能をもたせたものに検討してください。(男性 70 歳以上)
- ・公共施設の大規模改修や建替え時期が目前に迫っているのに、総合管理計画を作るためのアンケートがこれまでされてこなかったことに驚きです。こんな状態で市の予算を駅西口開発に使っても大丈夫でしょうか？優先すべきことは他にあるのでは？熊本の地震でも市庁舎の被災が問題になっています。無駄を省き、早急な安全対策を実施してください。(女性 50 歳代)
- ・災害時に代替出来る施設にしてほしい(改築の時)。(男性 60 歳代)
- ・災害が心配される頃、避難場所としても公共施設としてもある程度充実させておいてほしいと思います。(女性 60 歳代)

(施設の場所・アクセスに関する意見)

- ・市バスの運行ルートをもっと詳細にすべき。バス停までが遠く利用できない。運行本数を増やすべき。乗り換えで 30 分かかることもあり(ウェルス利用時、中に在住)とても不便。中 5 丁目までの施設も遠く、久喜と連動すべき。子供の数が減っていて不安。道路幅がとても狭い。久喜に出るととたんに広く感じるため、区画整理するなどしてせめて 6 m 道路にしてほしい。運転しづらく買物に出るのも大変なため。(女性 30 歳代)
- ・公共の施設が町の中にない。遠い。年を取って来ると行かれない。(女性 70 歳以上 無職)
- ・駅の改修、金掛けすぎ。その分水害対策に。朝日バス、消える不安、デマンドバスだけでは対応できない。デマンドバス、病院等は帰宅の時間(受診時間)予想出来ず予約できない。どうすれば。(男性 70 歳以上)
- ・交通の便が悪いので出かけにくい。高齢になり運転をやめて特に感じます。(女性 70 歳以上)

(施設の建替・補修等に関する意見)

- ・公共施設を利用することはほとんどありませんが、全体的に老朽化が多く見られます。時代に合った施設の見直しをしてほしいと思います。(女性 40 歳代)
- ・老朽化している施設を即修理、建替えをしてほしい(現在施設を週 5 日利用させていただいています)。(女性 70 歳以上)
- ・熊本の地震でさらに老朽化した建物に不安を感じます。(女性 50 歳代)
- ・現在ある施設の中で老朽化し、建替えが必要な施設が多数あるが、今後大きな災害時、倒壊の恐れのある施設については特に 1 人ですぐに逃げられない車椅子利用者、老人、乳幼児施設は早急に対応すべきだと考える。今回の熊本地震、前回の東日本大震災などを見ていると、建物がしっかりし

ていれば助かったであろう命がある。人口推移を考慮し、（例えば、乳幼児施設を建てるのであれば、将来的には老人施設並行できるように作るなど）よく練ってから建ててほしい。（女性 40 歳代）

2. 施設類型別の意見

（行政系施設）

- ・市役所を利用するには車いすの方は一人ではスロープが急で利用できません。方法がありましたら教えて下さい。（女性 60 歳代）
- ・今回の熊本県の震災に伴い各地の役所が壊滅的なダメージを受けましたが、幸手市におきましても早急な対応が必要と考えます。（女性 60 歳代）
- ・熊本地震を踏まえて行政系施設は耐震に優れた庁舎を作る。行政機能のマヒだけは避けるべき。圏央道開通に伴い、工業団地を大規模化することで多数の企業を誘致して税収を拡大する。（男性 50 歳代）
- ・駅前、ショッピングセンター内に市役所の出先窓口がほしい。（男性 50 歳代）

（福祉系施設）

- ・ウェルス幸手のプレイルームをよく使用していました。注意書きが多く目につき、イメージがあまり良くないと思いました。保育士さんが昔は常にと子どもと接してくれていたけど、最近は個室にこもっていたりしているので、作業がたくさんあるんでしょうが、大切なのはイベントなんかよりも毎日、ママさんや子どもたちと触れ合っていて気づいていくものの方がずっと大事だと思います。もっと目に見えないものを見てほしいです。児童館をもっと広くしてくれたら嬉しいです。（女性 30 歳代）
- ・ウェルス幸手、さくらホールの座席の段差がないので見難い。もっとコンサートをやればいい。野球場も遠すぎる。近くにあれば高校野球などで利用できるのでは？でも今から作るのも大変です。なんせ、田んぼばかりなので第2の夕張だと思います。公共施設ではありませんが、幸手団地なんとなかならないでしょうか？※デマンドバス時間に問題あります。病院に行くのに間に合わない。町の人達が利用するためか？なんとなかならないでしょうか。せめて木曜日は西関宿を最初にしてほしい。公共施設より足をなんとかしてほしい。人口が少ないんだから公共施設はいらないと思う。（女性 50 歳代）
- ・特別養護老人ホームの増設。学校の空き教室の利用再検討（空き教室に企業事務所を誘致）。職業訓練施設、ハローワーク。利用できる現在の施設についての周知度が低すぎるので、もっと利用率を上げるための告知等を実施（イベント実施など）。（女性 20 歳代）
- ・高齢化に伴い、介護保険及び福祉の管轄は町の中心部に移して欲しいですね。車に乗られる方はいいのですが、タクシー利用では負担になることもある。（女性 60 歳代）

（コミュニティ系施設）

- ・南公民館を利用しているが雨漏りが酷く、階段など滑ったら大怪我になる。また、2階の天井の雨漏りで、たらいやバケツを置くことで部屋が狭くなる。ブラインドも2年以上壊れたままで光の調節ができない。（女性 60 歳代）

- ・地域のコミュニティづくりのために公共施設は極めて重要です。現在ある各公民館は、その地域のコミュニティの拠点となっている。利用者が少ないということではなくことは大きな問題となる。運営の仕方、利用しやすい施設となるなど工夫を重ね、より利用者の多い公民館にしてほしい。公民館の配置は地域性も大変重要と思います。本年度より各公民館に館長が配置された。市の出先の事務処理も出来るようになりそうでとても良い。更に公民館長は各地区の各種総会等に出席し、公民館活動のPRをしてほしい。地域と公民館との結び付きを強める方法を行いたい。(男性 70 歳以上)
- ・公民館の数が多いと感じる。図書館が増えたのは良い(翻訳小説の数は少ないと思う)。体育系の施設よりも子どもやお年寄りが遊んだり散歩できたりする公園を作ったほうが良いと思う。(女性 20 歳代)
- ・地域の中で高齢者のクラブに参加しているが、メンバーの高齢化が進み和室での正座が出来なくなった方が多くなっている。例年はコミュニティセンターの和室でお花見会を行っていたが、今年は集会室の椅子席で開催となった。和室から見る桜が楽しみだったが残念な事になった。コミセンでも和室の稼働率が悪いそうで、正座用の椅子がコミセンの備品として置いてあれば、稼働率も上がると思う。ぜひ、コミセンと相談の上早期に設置することを検討してください。(女性 60 歳代)

(体育系施設)

- ・子供がいるとか高齢の人がいるとか個々の事情によって全く意見が違うと思います。が、そういう人の意見を尊重した方が良い。当方が利用していたのはアスカル幸手、しかし最近だれも来ないし、ここまで来てくれるので積極的に観に行きたいのですが、無駄な箱ものだったのかなという感が。(女性 50 歳代)
- ・ジョギングコース、サイクリングコースを作ってほしい。誰でも気軽に入れる芝生の広場があれば白岡の総合運動公園は使いやすい。(男性 30 歳代)
- ・幸手住民がおそらく最も利用しているであろう「アスカル幸手」をもっと充実させた複合施設にするべきだと思う。「アスカル幸手」はスポーツ施設というイメージがとても強いので、施設内に図書館やカフェ、子供も一日遊ぶことが出来るプレイグラウンドなどを併設させるなどして、幅広い年齢層の人々に利用してもらう努力をするべきである。(女性 20 歳代)
- ・幸手総合公園に何度か行ったことがあるが、トラックやサッカー場がくたびれていたように見えた。もし、作り替えるなら、アスカルの近くに集約させた方が良いと思う。陸上競技場も、もう少し何とかしないと……。客席も作り、イベントやプロの試合(J 1 の大宮とか、なでしこの狭山あたりが年 1 試合でもいいから)をやったら、人も来るし町も少しは盛り上がると思う。図書館はせっかく西口の整備をしているなら、そこに立てた方が便利になって良いと思う。近年、駅近の図書館はよく見かける。(男性 30 歳代)

(文化系施設)

- ・図書館、児童館の見直しは優先的に必要だと思います。子供を守るための施設が老朽化していて地震が来たら絶対に潰れると思います。(男性 20 歳代)
- ・大規模な図書館、自由に出入りできる茶話会室。(女性 70 歳以上)
- ・個人的には仕事等で日中はあまり幸手市内にいないので公共施設はあまり利用しません。しかし、数少ない利用している市立図書館を出来ればもっと充実させてほしい。利用時間が 19 時までになっ

たのはありがたいが、杉戸町立図書館の方を利用することが多く、幸手は利用しないという話をよく聞きます。しかし、こちらは車がないので杉戸は行きにくくて、幸手をこれからも利用したく思うのに、そんな話を聞くと悲しくなります。B&G 海洋センターも改修をお願いします。さくらマラソンでお迎えするのに恥ずかしいです。(女性 40 歳代)

- ・施設（公共）が避難所にならない図書館は改善してください。施設云々より水が出ないようにしてもらいたい。老朽化は中央公民館のことだと思うが、これもなくしてしまうことは、緑台の住民を蔑ろにしてしまうということだ。昔は駅前の水がひどかったのにこちらに流しているのか緑台がひどい。そしてよくならない。このままで緑台の人口は減ってしまうと思う。(女性 50 歳代)

(学校教育系施設)

- ・東日本大震災や熊本地震の時も救援物資が不足することが起きているので、災害に備えて、公共施設や学校などに生活必需品を出来る限り備蓄しておくようにしてもらいたい。(男性 30 歳代)
- ・公共施設内のトイレを改善してほしい(幼稚園、小中学校)。B&G のプールを再生してほしい(例：小さい子供の水遊び場などに)。小中学校にエアコンを設置してほしい(温暖化で夏の暑さがますます厳しいため)。(女性 60 歳代)
- ・子供達が学校から帰ったら自由に選べる公園が少なく、サッカー、野球だめと聞きました。一日おきにでも学校の校庭を開放することは出来ないのでしょうか。ただただ自転車で市内をうろうろする子供達を多く見ることが多く感じます。(女性 60 歳代)
- ・小学校の余裕教室の有効活用→老人福祉センター、幼稚園として利用など。特に老人福祉センターは車でないと通うのが難しいのでは？町中にあっても良いと思います。(女性 30 歳代)

(子育て支援系施設)

- ・幸手市の待機児童が多いか少ないかは分かりませんが、もし多いのであれば、税金をできるだけ保育園を建てる費用に当てていただければと思います。また、税金の使用にも少なからず無駄なことがあると、勝手ながらに思っています。(女性 10 歳代)
- ・現在もいろいろな施設で活用できる工夫をしていただき有り難うございます。今後について良くは分かりませんが、子育てのための施設、高齢者のための施設等が充実させていただければと思います。(女性 50 歳代)
- ・子供の環境の整備と充実。(女性 70 歳以上)
- ・保育所や児童館をもっと増やすべき。子供の数と保育所などの施設の数があっていない。(女性 20 歳代)

(その他)

- ・定年も終え 6 月 70 歳になり、公共設備等使用頻度が減りました。子供が小さいときは野球場、武道館、公民館等多数参加、使用させていただきましたが、現在の状況はあまりわかりません。B&G の焼却炉はダイオキシンの問題で焼却停止となりましたが、今の子供、若い親は環境ホルモンは何というくらい忘れ去られています。当時問題になった発泡ドンプリなど平気で使用しています。焼却炉は現在どうなっているか。有効活用には使用していると思いますが・・・。(男性 60 歳代)

- ・葬儀場建設の話が出ています。「反対してもどうせ」と皆さんの声。幸手市は地域の声を聞かない市ですか？桜と祭りの時期しか目立たない幸手市。私自身、いえ、周りも幸手から他市へ引っ越したいです……。保育園を増やすならともかく、これ以上葬儀場増設してどうするのですか？葬儀場は必要ですが3つも4つも近隣には必要なし。人の死を待っているのですか？常識はないのですか？田んぼの真中に建てるならともかく家が密集していて、小学校の通学路に建てるなんて。他市に恥ずかしいと思いませんか？建てればいいってものではないです。幸手市は人口減少しています。こんな市には住みたくないです。(女性 50 歳代)
- ・ゴミの処理施設の接地をし、今の民間企業から市の管理に変えるべきだと思う。・現在の医療施設の見直し、幸手に現存する医療施設は近隣の施設に比べあまりにもレベルが低い様に思います。若い力を市に取り入れるためには、今のこの状態では非常に難しいと思います。・さくらファームの様な施設の充実、安心して買うことが出来る食品や郷土の品物等を扱う施設は多くあっても良いと思います。(男性 30 歳代)
- ・精神疾患のある人のために集いの持てる施設を作って欲しい！！絶対！！（いつでも来られて仲間同士が話せる場）（簡単な軽作業で賃金のもらえる場）。そういう施設が全く無いので自分の居場所がなくて苦しいです。・幸手市にも精神のクリニックや軽度の精神病院を立ててほしい。(女性 40 歳代)
- ・幸手市が今後も住みやすい町であるよう望みます。役所の方々の努力には感謝申し上げます。(男性 20 歳代)
- ・行政はビジネスではありません。幸手市民が自ら責任を持ち住みやすくしていけるシステムの構築をお願いします。(男性 60 歳代)
- ・財源の問題は多方面に渡ると思いますが、設問等を見ていると市役所庁内に関する事柄（人事、給料）について、何らの解決改善策がありません。どの会社、団体でも財源に関する一番の問題は人にかかる費用だと思います。苦しいのは家庭も会社も同じです。その辺をもっと考えていただきたい。(男性 60 歳代)
- ・先を考えて行動していくべき（10 年ほど）。必要だから作ることをしていたら財政は厳しくなるのが当たり前。何かを作るためには何かを減らして作る。予定した費用を越すことなく余らせる様にしていく（後から費用が上がっても予定した減らすものをより減らすことが難しくなるため）。市民の声を聞き、答えを出す（すべての市民が市で起こる事に知る権利があると思うため）。(男性 30 歳代)

●調査票

幸手市の公共施設に関する市民アンケートへのお願い

～ みなさんのご意見をお聞かせください ～



平素は、幸手市の市政運営にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

幸手市では、昭和40年代から50年代にかけて、人口の増加や市民ニーズに対応するため、多くの公共施設を整備してきました。そして現在、その施設は建設から30年以上が経過し、今後、老朽化に伴う大規模な修繕や建替えの時期を一斉に迎えることになります。

その一方で、人口減少や少子高齢化が進み、税収の減少や社会保障関係経費の増大が見込まれる中で、施設の改修や建替えを行うことは財政的に非常に困難となります。

そこで、今後の公共施設の効率的な維持管理・運営について、総合的かつ計画的に行っていくため、その基本方針となる「**幸手市公共施設等総合管理計画**」をこのたび策定することになりました。

については、本計画の策定にあたり、広く市民の皆様から公共施設の利用状況や今後のあり方についてのご意見をいただきたく、この「**幸手市の公共施設に関する市民アンケート**」を実施することといたしました。

お忙しいところお手数をおかけして誠に申し訳ございませんが、本アンケートにご協力くださるようよろしくお願いいたします。

平成28年4月 幸手市長 渡辺邦夫

◆記入にあたってのお願い

1. このアンケートは、あて名のご本人様がお答えください。ご本人様の記入が難しい場合は、ご家族様や介助者様の代筆で回答をお願いします。
2. 記入する前に、次ページ以降の参考資料「幸手市の人口の将来見通しと公共施設を取り巻く環境の変化」をご覧ください。
3. ボールペンか濃い鉛筆、サインペンなどではっきりと記入してください。
4. 回答は、該当する番号を○で囲んだり、具体的に記述するなど、設問ごとに指定する方法で記入してください。
5. 回答欄の「その他」を選んだときは、() 内に簡単にその内容を記入してください。
6. 封筒やアンケート用紙にお名前を記入する必要はありません。

◆アンケートの回収について

- ・アンケート用紙に回答をご記入の上、同封の返信用封筒に入れて、5月6日(金)までに、切手を貼らずに郵便ポストに投かんしてください。

◆調査対象・目的

- ・調査は、平成28年2月末日現在の住民基本台帳から無作為に抽出した16歳以上の市民2,000人を対象に実施しています。
- ・調査はあくまでも計画の策定を含めた今後の公共施設の効率的な維持管理・運営を検討するための基礎資料とすることを目的としていますので、無記名で行い、別の目的には使用いたしません。

【アンケートに関する問合せ先】

幸手市 総務部 政策調整課 政策・魅力創造担当 電話：0480-43-1111(内線 4401)

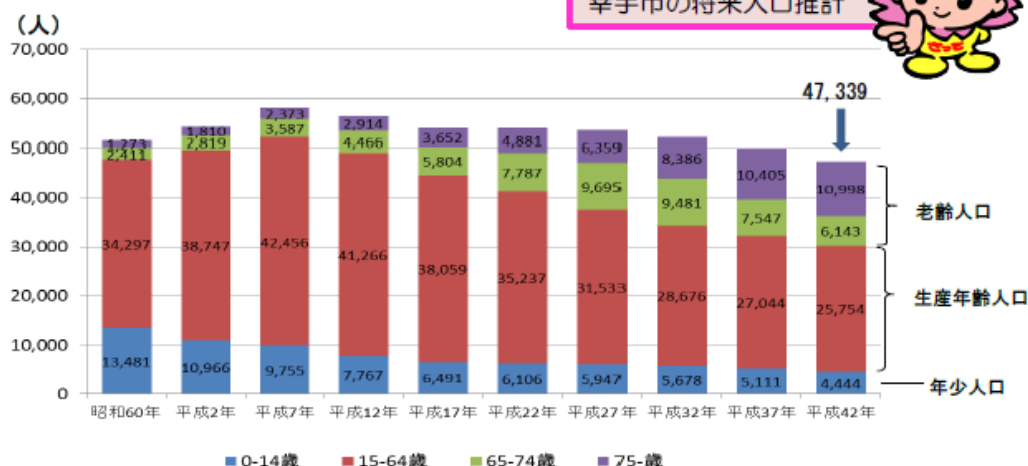
【参考資料】幸手市の人口の将来見通しと公共施設を取り巻く環境の変化

～この資料をご覧になってから、同封のアンケートにお答えください。～

1. 総人口及び年代別人口の推移と将来の見通し

人口減少や少子高齢化は、全国的に進行しています。幸手市においても同様の傾向が見られ、この傾向が続くと将来的に税収が減少し、社会保障費が増え、財政状況が非常に厳しくなることが見込まれます。

幸手市の将来人口推計



【埼玉県提供の将来人口推計ツールにより算出し、グラフ化】

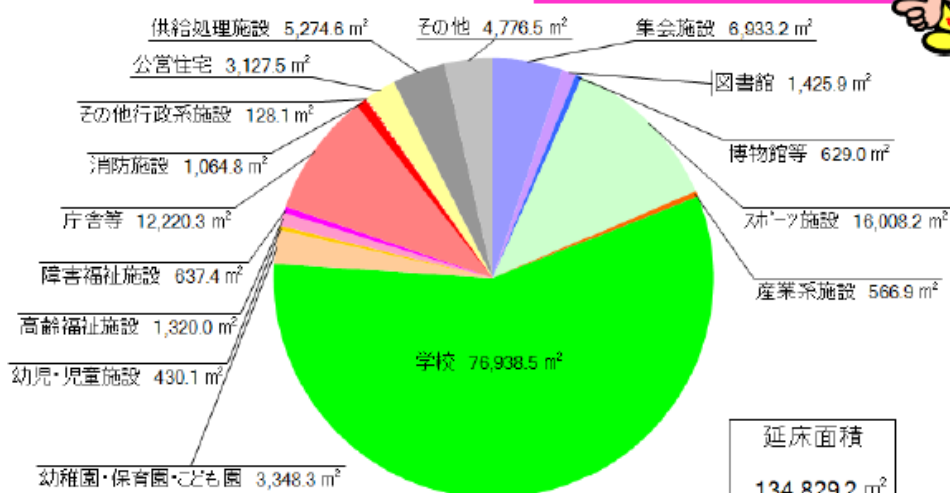
幸手市公共施設白書(平成26年10月)より

2. 保有する公共施設数とその割合

幸手市が保有する公共施設は 79 施設(263 棟)、約 13.5 万平方メートルで、市民一人あたり※に換算すると約 2.5 平方メートルとなります。

※公共施設白書作成時の人口数で算出

幸手市の延床面積の内訳



延床面積

134,829.2 m²

幸手市公共施設白書(平成26年10月)より

幸手市の公共施設等アセットマネジメントへの取組み

幸手市では、縦割りにより各部署で管理していた公共施設を一元的に把握して将来の費用負担を推計し、その上で、老朽化した施設の統廃合や余剰施設の複合的な活用などを行い、一定の行政サービスを維持しつつ、長期的な財政支出の削減を図る取組みである、「公共施設等アセットマネジメント」を推進しています。

その一環として、公共施設の現状や将来の更新費用の推計結果をまとめた「**幸手市公共施設白書**」を平成26年10月に作成いたしました。幸手市ホームページから閲覧が可能となっていますので、是非、この機会に、より詳細な公共施設の状況についてご確認くださいようお願いいたします。

[ホーム](#) [サイト内検索](#) [サイトマップ](#) [文字の拡大](#) [問合せ](#)







[市民便利帳](#) [観光情報](#) [施設案内](#) [各課案内](#) [市の概要](#) [アクセス](#)

[ホーム](#) > [各課案内](#) > [政策調整課](#) > [公共施設のアセットマネジメントについて](#)

公共施設のアセットマネジメントについて

●**公共施設のアセットマネジメントについて**

市内の公共施設は、その多くが昭和40年代後半から昭和50年代にかけて建設されました。これらの公共施設は、老朽化し、今後、大規模な修繕や建替えの時期を迎え、多額の更新費用が発生することが予想されています。

本市では、縦割りにより各部署で管理していた公共施設を一元的に把握して将来の費用負担を推計し、その上で、老朽化した施設の統廃合や余剰施設の複合的な活用などを検討し、一定の行政サービスを維持しつつ、長期的な財政支出の削減を図る取組みである「公共施設アセットマネジメント」を推進していきます。

●**「幸手市公共施設白書」を作成しました**

市内の多くの公共施設は、現在、建設から30年以上が経過し、今後、老朽化に伴う大規模な修繕や建替えの時期を迎えることになります。仮に既存の施設をすべて建て替えることになると、同時期に多額の費用がかかることになります。その一方で、人口減少や少子高齢化が進み、税収の減少や社会保障関係経費の増大が見込まれる中で、こうした施設の改修や建替えを行うことは財政上難しくなってきます。

このような状況への対応として、このたび、市内公共施設の現状や将来の更新費用の推計結果などをまとめた「**幸手市公共施設白書**」を作成いたしました。今後、この白書を基に、これからの幸手市の公共施設のあり方について検討し、アセットマネジメントを推進していきます。

※この白書は、公共インフラ（道路、橋りょう、上下水道等）を除いた「ハコモノ」と呼ばれる建物についてまとめたものです。



▲幸手市公共施設白書
(PDF:6.43MB)

問合せ 政策調整課 電話40-1111 内線242・4401
 Copyright(C) City Satte all rights reserved. 無断転載

(幸手市ホームページ:「公共施設のアセットマネジメントについて」より)

<https://www.city.satte.lg.jp/ka/soumu-bu/seisaku/oshirase/asetto-maneji/asetto-maneji.htm>

幸手市 公共施設アセットマネジメント

検索

公共施設に関する市民アンケート調査用紙

あなたご自身についてお尋ねします

【問１】 あなたの性別はどちらですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

【問２】 あなたの年齢はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|---------|
| 1 10歳代 | 4 40歳代 | 7 70歳以上 |
| 2 20歳代 | 5 50歳代 | |
| 3 30歳代 | 6 60歳代 | |

【問３】 あなたがお住まいの住所はどこですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | | |
|--------------------------|---------|---------|--------|
| 1 中 | 10 内国府間 | 22 木立 | 34 天神島 |
| 2 北 | 11 中川崎 | 23 惣新田 | 35 平須賀 |
| 3 南 | 12 下川崎 | 24 細野 | 36 神扇 |
| 4 幸手①
(1～3,300番台) | 13 千塚 | 25 下宇和田 | 37 平野 |
| 5 幸手②
(3,400～4,000番台) | 14 円藤内 | 26 上宇和田 | 38 中野 |
| 6 幸手③
(5,000番台) | 15 松石 | 27 下吉羽 | 39 長間 |
| | 16 高須賀 | 28 西関宿 | 40 栄 |
| | 17 外国府間 | 29 花島 | 41 香日向 |
| 7 東 | 18 上高野 | 30 中島 | |
| 8 緑台 | 19 権現堂 | 31 槇野地 | |
| 9 西 | 20 上吉羽 | 32 戸島 | |
| | 21 神明内 | 33 吉野 | |

【問４】 あなたのご職業はどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|--------|-------|
| 1 会社員（公務員を含む） | 4 家事専業 | 7 無職 |
| 2 自営業 | 5 農業 | 8 その他 |
| 3 パートタイマー・アルバイト | 6 学生 | |

【問５】 あなたの幸手市での居住年数は次のうちどれですか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | | |
|-------------|---------------|---------|
| 1 1年未満 | 4 5年以上～10年未満 | 7 20年以上 |
| 2 1年以上～3年未満 | 5 10年以上～15年未満 | |
| 3 3年以上～5年未満 | 6 15年以上～20年未満 | |

あなたの公共施設の利用状況についてお尋ねします

【問6】 あなたは、過去1年間に、以下に示す公共施設をどのくらい利用しましたか。
施設ごとに「①利用頻度」から1つ選んで、番号に○をつけてください。

①で「利用していない」を選択した場合は、その理由を「②利用していない理由」
から選んで、番号に○をつけてください。

施設分類 (施設例)		①利用頻度 (○は1つ)				②利用していない理由 (○はいくつでも)									
		週に1回以上	月に1回以上	年に数回程度	利用していない	利用しない理由 利用する機会が ない	不便 施設のある場所が	利用時間に不満	利用料金に不満	設備に不満	他市町村の 類似施設を利用	民間の類似施設を 利用	知らない	施設が存在を 知らない	関心がない・その他
記入例)		1	2	3	④	①	2	3	④	5	6	7	8	9	
1 行政系施設	市役所	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
2 福祉系施設	ウェルス幸手	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	老人福祉センター	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
3 コミュニティ 系施設	コミュニティセンター	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	勤労福祉会館	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	公民館	中央	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		東	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		西	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		南	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		北	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9
4 体育系施設	アスカル幸手	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	幸手 総合 公園	陸上	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		サッカー	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		テニス	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	海洋センター (体育館)	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	野球場	ひばりヶ丘	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		神扇	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	武道館、弓道場	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	

(前ページの続き)

施設分類 (施設例)			①利用頻度 (○は1つ)				②利用していない理由 (○はいくつでも)								
			週に1回以上	月に1回以上	年に数回程度	利用していない	利用しない 利用する機会が不便	施設のある場所が利用時間に不満	利用料金に不満	設備に不満	類似施設を利用	他市町村の民間の類似施設を利用	知らない	施設が存在を知らない	関心がない・その他
記入例)			1	2	3	④	①	2	3	④	5	6	7	8	9
5文化系施設	図書館	市立図書館	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9
		香日向分館	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9
6学校教育系施設	学校開放による小・中学校の校庭、体育館		1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	市立幼稚園※		1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9
7子育て支援系施設	保育所※		1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	児童館※		1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	放課後児童クラブ※ (学童保育室)		1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9

※保護者として記入してください。

あなたの考える公共施設の満足度や優先度についてお尋ねします

【問 7】 あなたは、公共施設の数や広さ、サービスについて満足をしていますか。施設ごとにあなたの考えに最も近いものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

【回答の目安】

- ①施設の数 は、幸手市の規模（人口や面積）から見てどう思われるかで評価をしてください。
- ②施設の広さは、ふだん利用されている（されたことのある）施設を基準にお考えください。
- ③施設のサービス（施設の機能、利用料金、施設職員の対応など）は、ふだん利用されている（されたことのある）施設を基準にお考えください。

施設分類 (施設例)			①施設の数 (○は1つ)						②施設の広さ (○は1つ)						③施設のサービス (○は1つ)				
			多 す ぎ る	や や 多 い	適 量	や や 少 な い	少 な い	わ か ら な い	広 す ぎ る	や や 広 い	適 量	や や 狭 い	狭 い	わ か ら な い	満 足	や や 満 足	や や 不 満	不 満	わ か ら な い
記入例)			①	2	3	4	5	6	1	②	3	4	5	6	1	2	③	4	5
1 行政系施設	市役所		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
2 福祉系施設	ウェルス幸手		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	老人福祉センター		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
3 コミュニティ 系施設	コミュニティセンター		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	勤労福祉会館		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	公民館	中央	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
		東	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
		西	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
		南	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
		北	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
4 体育系施設	アスカル幸手		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	幸手 総合 公園	陸上	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
		サッカー	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
		テニス	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	海洋センター (体育館)		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5

(前ページの続き)

施設分類 (施設例)			①施設の数 (○は1つ)						②施設の広さ (○は1つ)						③施設のサービス (○は1つ)				
			多 すぎる	やや 多い	適 量	やや 少ない	少 ない	わ か ら な い	広 すぎる	やや 広い	適 量	やや 狭い	狭 い	わ か ら な い	満 足	やや 満足	やや 不満	不 満	わ か ら な い
記入例)			①	2	3	4	5	6	1	②	3	4	5	6	1	2	③	4	5
4体育系施設	野球場	ひばりヶ丘	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
		神扇	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	武道館、弓道場		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
5文化系施設	図書館	市立図書館	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
		香日向分館	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
6学校教育系 施設	学校開放による小・中 学校の校庭、体育館		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	市立幼稚園※		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
7子育て支援 系施設	保育所※		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	児童館※		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5
	放課後児童クラブ※ (学童保育室)		1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5

※保護者として記入してください。

【問8】 公共施設では様々なサービスを提供していますが、幸手市が将来にわたって優先的に維持すべき施設は、どのような施設が良いと思いますか。施設分類の中から順番に1位、2位、3位までを選び、下の枠内の順位に○を記入してください。（○は3つ）

施設分類	優先順位			記入例※		
1 行政系施設	1位	2位	3位	1位	2位	3位
2 福祉系施設	1位	2位	3位	1位	2位	3位
3 コミュニティ系施設	1位	2位	3位	1位	2位	3位
4 体育系施設	1位	2位	3位	1位	2位	3位
5 文化系施設	1位	2位	3位	1位	2位	3位
6 学校教育系施設	1位	2位	3位	1位	2位	3位
7 子育て支援系施設	1位	2位	3位	1位	2位	3位

※記入例は、福祉系施設が1位、コミュニティ系施設が2位、子育て支援系施設が3位と考えた場合

【問9】 公共施設の役割や効果の分析により、今後施設の削減や見直しをすることが必要になることも考えられます。その場合、どのような施設から削減や見直しをしていくべきだと思いますか。3つまで選んで○をつけてください。（○は3つまで）

1 社会情勢の変化により利用者が減少している施設 2 利用者が固定化していて、一部の個人・団体が使うことが多い施設 3 建物・設備が老朽化している施設 4 施設の維持管理・運営にかかる費用が多い施設 5 市内の近い範囲で、提供するサービスが重複している施設（民間施設含む） 6 近隣市町村の施設と機能が重複している施設 7 わからない 8 その他（ ）

【問10】 参考資料「幸手市の人口の将来見通しと公共施設を取り巻く環境の変化」をご覧になって、あなたが最も心配な点は何ですか。1つ選んで、番号に○をつけてください。（○は一つ）

1. 総人口及び年代別人口の推移と将来の見通し 2. 保有する公共施設数とその割合 3. 公共施設の老朽化割合 4. 将来の公共施設更新費用（試算） 5. その他（ ）
--

今後の公共施設のあり方についてお尋ねします

【問11】 将来も安全で使い易い施設を提供していくために、さまざまな方策を検討していく必要があります。市の保有する公共施設全般に関して、あなたはごどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

(○はそれぞれ1つ)

質 問	積極的 に実施す べき	どちらか といえば 実施すべ き	どちらか といえば 実施すべ き ではない	実施す べきでは ない	わから ない どちら とも言 えない
1 施設の統廃合や機能の複合化 ^(注) 等によって総量(施設数)を減らす。	1	2	3	4	5
2 近隣の市町村と共同で施設を建設・運営する。	1	2	3	4	5
3 施設の更新(改修・建替え)や維持管理・運営に民間のノウハウや資金を活用する。	1	2	3	4	5
4 地域活動に密着した施設は、地域住民等が維持管理・運営を行う。	1	2	3	4	5
5 老朽化している施設の改築や修繕を行い、建物を長持ちさせる。(長寿命化)	1	2	3	4	5
6 利用頻度の低い施設は、他の用途に変更することで施設の再生を図る。	1	2	3	4	5
7 利用頻度の低い施設は廃止し、建物等を売却・賃貸して収入を得る。	1	2	3	4	5
8 施設の利用料を引き上げるなど、市の歳入を増やし、今ある施設を存続させる。	1	2	3	4	5

(注) 複合化：一つの施設に複数の機能を持たせること。

(○は1つ)